

東日本大震災後の岩手県不動産市場 動向に関するアンケート調査結果

第10回調査（平成27年10月1日時点）

平成27年12月

一般社団法人 岩手県宅地建物取引業協会

公益社団法人 全日本不動産協会岩手県本部

一般社団法人 岩手県不動産鑑定士協会

岩手県不動産市場動向に関する第10回アンケート調査の実施によせて

平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

東日本大震災を契機に3協会の共同で始めました岩手県不動産市場動向に関するアンケート調査（第10回）結果の概要は以下のとおりです。

- ① 沿岸部の住宅地価格、ここ半年間の動向判断指数（D I）は、北部は横ばいから大きく鈍化、南部は前回に引き続きマイナスとなり、低調な推移を継続。
県央部の住宅地価格、D Iがプラスに転じ、今後半年間の先行きも強含みの予測。
- ② 住宅地の取引件数、内陸北部が横這いに改善も、その他地域は引き続き低調。
- ③ 商業地の価格、沿岸南部のD Iが引き続きマイナスとなり、全ての地域で弱含み。
今後半年間の先行きも全地域でマイナスと予測。
- ④ 消費税率引上げの影響については、8%引上げ時の落ち込みからは概ね持ち直しており、一部10%引上げ前の駆け込みの兆しもみられる。10%引上げ後の低迷を懸念する声も目立つ。
- ⑤ 空き家、空き地対策、利活用、情報共有等に資する施策等の要望。

①②については、沿岸部の住宅地の価格は、動向判断指数（D I）が、前回調査で、北部が横ばいに、南部がマイナスに転じ、第1回アンケート調査時から継続していた強含みでの推移から低調な推移へと移行しておりました。今回調査では、北部のD Iは大きくマイナスに鈍化し、南部のD Iは引き続きマイナスとなり、低調推移を継続しています。他方、前々回調査でD Iがマイナスに転じた県央部は、今回調査でD Iが再びプラスに転じ、半年後の先行き予測も強含みと見通されています。また、住宅地の取引件数D Iは、内陸北部が横ばいであったものの、その他地域は引き続きマイナスとなっております。沿岸部においては、復興事業の進展により自力再建の動きが沈静化している状況が継続して表れているものと考えられます。

住宅地の価格に関しては、中古住宅の価格も同様の結果でしたが、県央部のみが比較的堅調に推移していることを示す結果となっております。

③については、前回調査で商業地価格D Iがマイナスに転じた沿岸南部が引き続きマイナスで、前回と同じく、全ての地域で弱含みとなり、先行き予測も全地域でマイナスとなっております。取引件数D Iについても全地域でD Iがマイナスとなっており、商業地の需要は全般的に停滞していることが窺えます。

④については、今回調査は、平成29年4月の税率10%への引上げまで、1年半を残した時点での調査となりました。回答内容としては概ね、8%への引き上げ時の駆け込みの反動などによる落ち込みからは持ち直しの基調にあり、10%への引上げに向けた駆け込み需要も一部みられるといったものでした。ただし、工事費高騰の影響も相まって、8%への引上げの影響が甚だしいとの回答、10%への引上げ後の市場を憂慮する回答も少なからず寄せられました。

⑤については、空き家対策特別措置法が施行され、空き家対策等の重要性について関心が高まっているところ、空き家・空き地の情報共有とその利活用を促進する施策を望む声が散見されました。

3協会では、当アンケート調査が、復興の推進、市場の環境改善に寄与するものとなるよう、改善を施しながら継続していきたいと考えておりますので、今後とも、当該調査活動にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。最後に、ご業務のなか貴重なお時間を割いて当調査にご理解とご協力を下さいました会員の皆様に、心より感謝いたします。

平成27年12月

一般社団法人 岩手県宅地建物取引業協会
会長 多田 幸司

公益社団法人 全日本不動産協会岩手県本部
本部長 田屋 慶一

一般社団法人 岩手県不動産鑑定士協会
会長 細川 卓

目 次

| | |
|-----------------------------|----|
| 〔1〕 岩手県不動産市場動向調査の概要 | 1 |
| 1. アンケート調査の概要 | 1 |
| 2. 動向判断指数（D I）等について | 3 |
| 3. アンケート調査票 | 4 |
| 〔2〕 アンケート集計結果 | 6 |
| 1. 調査結果の概要と動向判断指数（D I）による分析 | 6 |
| （1）調査結果の概要 | 6 |
| （2）動向判断指数（D I）による分析 | 14 |
| 2. 設問ごとの回答内訳 | 21 |
| 問3 取引価格の6ヶ月前（H27.4.1時点）との比較 | 21 |
| 問4 6ヶ月後の取引価格の予測 | 23 |
| 問5 取引件数の6ヶ月前（H27.4.1時点）との比較 | 25 |
| 問6 6ヶ月後の取引件数の予測 | 28 |
| 問7 賃料の6ヶ月前（H27.4.1時点）との比較 | 31 |
| 問8 入居率の6ヶ月前（H27.4.1時点）との比較 | 32 |
| お問い合わせ窓口等 | 33 |

〔1〕岩手県不動産市場動向調査の概要

1. アンケート調査の概要

一般社団法人岩手県宅地建物取引業協会、公益社団法人全日本不動産協会岩手県本部及び一般社団法人岩手県不動産鑑定士協会の三者共同で、平成27年4月1日（第9回調査時点）から平成27年10月1日（第10回調査時点）までの6ヶ月間の不動産市場の推移に関する実感と、この先6ヶ月間（H27.10.1～H28.4.1）の市場動向に関する予測、不動産市場の特徴的な動き、国・県・市町村等に対する要望・意見等についてアンケート調査を実施した。アンケートの対象は一般社団法人岩手県宅地建物取引業協会及び公益社団法人全日本不動産協会岩手県本部の会員である。

なお、本調査はP3のとおり定性調査であり、具体的な取引件数、成約価格等の定量調査ではない。

- (1)実施時期 平成27年10月
- (2)調査方法 一般社団法人岩手県宅地建物取引業協会及び公益社団法人全日本不動産協会岩手県本部の会員に対するアンケート調査
- (3)発送数 707
- (4)回収数 190（回収率：26.9%）
- (5)地域区分 沿岸北部、沿岸南部、県央部、内陸北部、内陸南部の5つに地域区分し集計した。

問1：回答者の主な営業地域

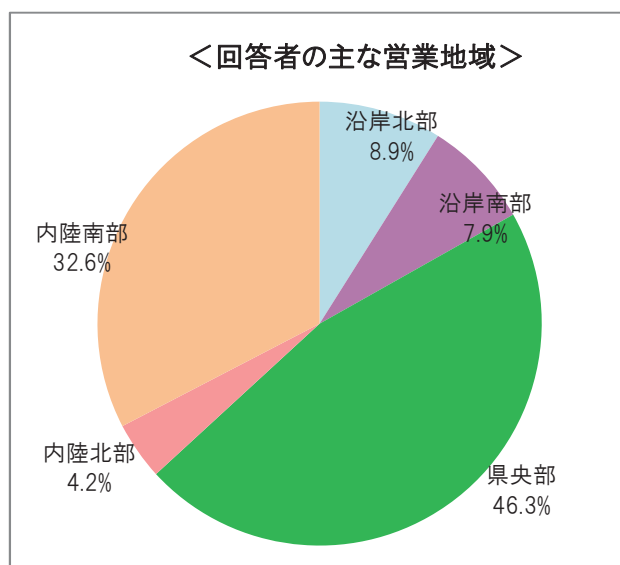
＜各市町村の地域区分＞



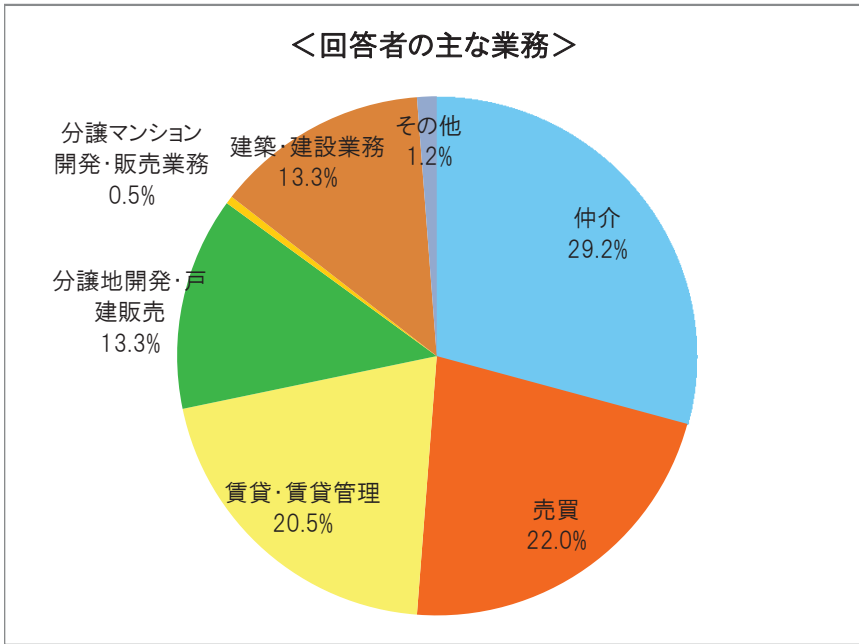
| 地域区分 | 地区名 | 発送数 | 回答数 | 回収率 |
|------|------|-----|-----|-------|
| | 沿岸北部 | 57 | 17 | 29.8% |
| | 沿岸南部 | 41 | 15 | 36.6% |
| | 県央部 | 346 | 88 | 25.4% |
| | 内陸北部 | 26 | 8 | 30.8% |
| | 内陸南部 | 237 | 62 | 26.2% |
| | 合計 | 707 | 190 | 26.9% |

※回収率は、発送数を事務所所在地を基準とし、回答数は、主な営業地域により計算している。

＜回答者の主な営業地域＞



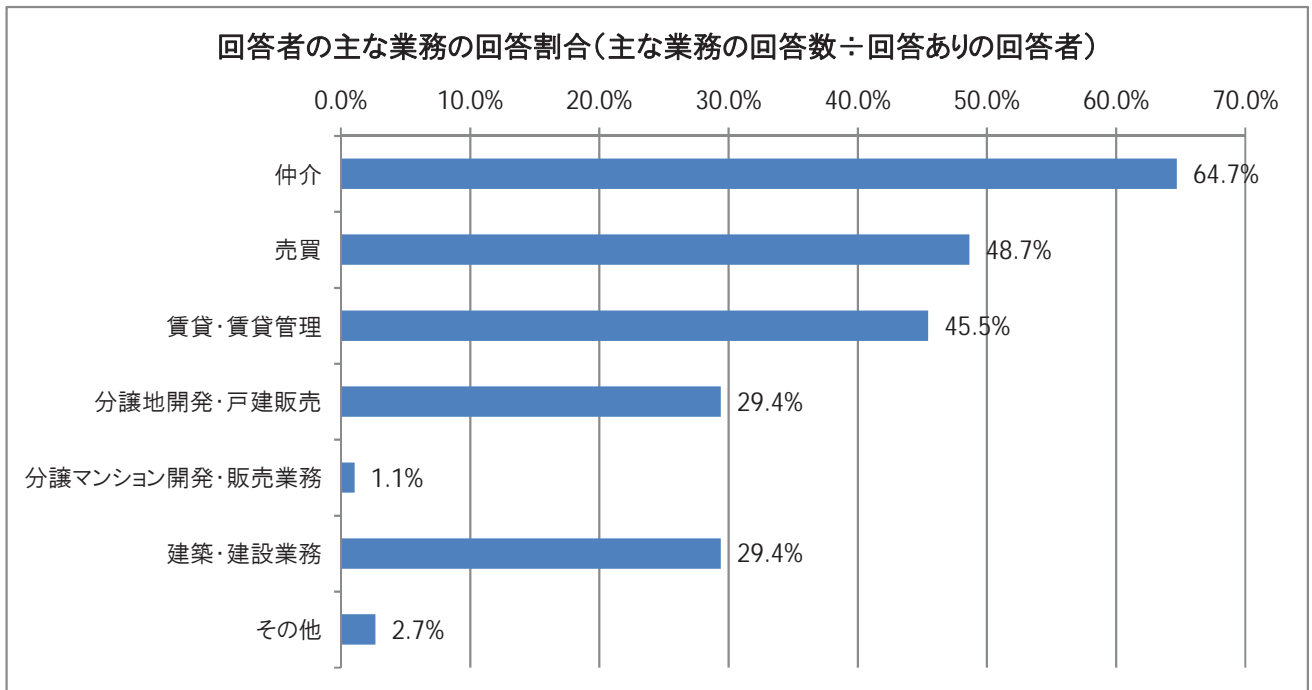
問2：回答者の主な業務



| 主な業務についての回答 | |
|-------------|-----|
| 回答の有無 | 回答数 |
| 回答あり | 187 |
| 回答なし | 3 |
| 合計 | 190 |

| 主な業務 | 回答数 |
|----------------|-----|
| 仲介 | 121 |
| 売買 | 91 |
| 賃貸・賃貸管理 | 85 |
| 分譲地開発・戸建販売 | 55 |
| 分譲マンション開発・販売業務 | 2 |
| 建築・建設業務 | 55 |
| その他 | 5 |
| 合計 | 414 |

(複数回答あり)



仲介、売買、賃貸・賃貸管理をコア業務としている会員が多く、また、建築・建設をコア業務と回答している会員も3分の1弱を占めている。

2. 動向判断指数（D I）等について

（1）動向判断指数（D I）

① D Iとは

D Iとは、D i f f u s i o n I n d e x（ディフュージョン・インデックス）の略で、現状や先行きの見通し等についての定性的な判断を指標として集計加工した指数であり、経済指標等において広く活用されている。

本調査においては、D Iとして指数化することにより調査項目の時系列把握や地域間比較を行ったりすることが容易となる。

② D Iの算出方法

本調査におけるD Iの算出方法は、各判断項目について上昇（増加）から下落（減少）までの5段階または3段階の選択肢を用意し、選択肢毎の回答数を単純集計して全回答数に対する構成比率を求め、次式により算出する。

<算出方法（5段階の例）>

| | | | | | | |
|--------|-------|------|-----|------|-------|-----------|
| 住宅地の地価 | 大きく上昇 | やや上昇 | 横ばい | やや下落 | 大きく下落 | 不明 無回答 |
| 回答数 | A | B | C | D | E | F |

$$D I = \{ (A \times 2) + (B \times 1) + (D \times -1) + (E \times -2) \} \div 2 \div (A + B + C + D + E) \times 100$$

<算出方法（3段階の例）>

| | | | | |
|---------|----|-----|----|-----------|
| 建築資材の価格 | 上昇 | 横ばい | 下落 | 不明 無回答 |
| 回答数 | A | B | C | D |

$$D I = (A - C) \div (A + B + C) \times 100$$

※D Iが0.0以上となれば回答者は市況に対して前向きに考えていると言え、理論上のD Iの幅は、プラスマイナス100の範囲となる。

（2）中央値

中央値とは、データを大きさの順に並べたとき、全体の中央にくる値、データの数が偶数の時は、中央にある二つの値の平均値。

■問7 **現在** (H27.10.1時点)の**賃料**は6カ月前(H27.4.1時点)と比較してどのように感じていますか？

住居系不動産の家賃： 1. 大きく上昇 2. やや上昇 3. 横ばい 4. やや下落 5. 大きく下落 6. 不明

その他不動産の家賃： 1. 大きく上昇 2. やや上昇 3. 横ばい 4. やや下落 5. 大きく下落 6. 不明

■問8 **現在** (H27.10.1時点)の**入居率**は6カ月前(H27.4.1時点)と比較してどのように感じていますか？

住居系不動産の入居： 1. 大きく上昇 2. やや上昇 3. 横ばい 4. やや低下 5. 大きく低下 6. 不明

その他不動産の入居： 1. 大きく上昇 2. やや上昇 3. 横ばい 4. やや低下 5. 大きく低下 6. 不明

■問9 震災から約4年半を経過した現在、営業地域の不動産取引で特徴的なことがありましたら教えてください。

(記載例：住宅用地、中古住宅の不足が続いている。現金買いの住宅購入者の動きは落ち着いた。住宅ローンの活用がなかなか進まない。資金不足、既存債務(二重ローン)等から、持家による住宅再建を諦める人が増えている。少人数世帯向け新築戸建、マンションの需要が高まっている。ファミリータイプの賃貸物件も一部空きが出て来た。〇〇地区等に量販店、外食店、コンビニ等の引き合いがある。分譲地の在庫の消化が進んだ。地元商工事業者の営業・事業再開が進まない。建築資材不足は緩和したが職人不足は続いている。 etc.)

■問10 消費税率引上げに伴う、最近の不動産取引の動向について教えてください。

(記載例：消費税率引上げの反動で一時成約が落ち込んだものの、最近は持ち直しの傾向にある。 etc.)

■その他 (市場の現状、先行きの動向予測や、国、県、市町村、当調査等へのご意見・要望などを、ご自由にお書きください。)

以上で、質問は終了です。お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。 **10月23日(金)**までに下記FAX番号、又は同封の返信用封筒にて返信お願い申し上げます。

一般社団法人岩手県不動産鑑定士協会 FAX番号 019-622-8485

差し支えなければ、貴社名等についてご回答ください。本件結果概要について、送付希望の場合は貴社名・〒番号・ご住所は必ず記載をお願いします。(タナ版を押して頂ければ結構です。)

| | | | | |
|---|--|-------------|-------|-------------|
| 所 属 協 会 貴社名(営業所・支店名) 〒 番 号 ・ ご 住 所 電 話 番 号 ご 担 当 者 ※ 調 査 結 果 の 送 付 | <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%; text-align: center;">希望する</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">希望しない</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">←〇印をつけてください</td> </tr> </table> | 希望する | 希望しない | ←〇印をつけてください |
| 希望する | 希望しない | ←〇印をつけてください | | |

〔2〕 アンケート集計結果

1. 調査結果の概要と動向判断指数（D I）による分析

（1） 調査結果の概要

■ 住宅地の地価

プラスに転じた県央部のみ強含み。沿岸北部は横ばいから大きく鈍化。

今回（H27/10）と過去9回（H23/6、H23/9、H24/4、以降各年4・10月）の住宅地価格D I（実感）比較をみると、沿岸北部が30.0⇒15.4⇒2.9⇒12.5⇒28.1⇒20.0⇒26.5⇒13.2⇒0⇒▲18.8と、前回調査で横ばいとなったのち、今回調査では大きくD Iを下げ調査開始以来初めてマイナスとなった。沿岸南部は40.0⇒20.0⇒50.0⇒34.6⇒32.1⇒38.5⇒11.1⇒13.9⇒▲7.1⇒▲6.7と、前回マイナスに転じたD Iが引き続きマイナスとなった。前回調査で表われた、復興事業の進展に伴い自力再建の動きが鎮静化している状況が引き続いていることが窺える。

一方、県央部は、価格D I（実感）▲9.2⇒▲12.5⇒▲23.6⇒▲12.4⇒1.9⇒2.3⇒5.3⇒▲0.5⇒▲1.0⇒6.6と、前々回調査でマイナスに転じたD I値が再びプラスに転じ、6ヶ月後の先行き予測も4.8と強含みの推移が継続すると予測されている。

内陸部については、北部は▲10.0⇒▲6.3⇒▲22.2⇒▲16.7⇒▲25.0⇒▲16.7⇒▲25.0⇒▲30.0⇒▲20.0⇒▲28.6、南部は▲13.6⇒▲16.1⇒▲24.0⇒▲18.1⇒▲12.3⇒▲13.1⇒▲15.1⇒▲13.3⇒▲16.2⇒▲14.3と、いずれも震災3ヶ月後（実感H23/6）からのマイナス圏での推移を継続しており、県央部のみ強含みとなっている。

■ 商業地の地価

沿岸南部が引き続きマイナスとなり、全ての地域で弱含み。

今回と過去9回の商業地価格D I（実感）比較をみると、沿岸南部は、▲60.0⇒▲50.0⇒▲31.8⇒▲12.5⇒5.6⇒16.7⇒10.0⇒10.7⇒▲22.2⇒▲3.8と、改善を示したものの引き続き弱含みの結果となった。沿岸北部は、▲12.5⇒▲16.7⇒▲21.9⇒▲10.0⇒▲6.3⇒0⇒▲8.8⇒▲2.6⇒▲14.7⇒▲18.8と、D Iのマイナス値を拡大しつつ弱含みの推移を続けている。

他の地域については、県央部の価格D Iは、▲6.8⇒▲3.6⇒▲2.1、内陸北部は▲44.4⇒▲30.0⇒▲42.9、内陸南部は▲15.9⇒▲26.7⇒▲19.1と、マイナス圏での推移を続けており、全ての地域で、価格・取引件数とも低調であることを示す結果となった。

■ 中古住宅の価格及び取引件数

価格は、沿岸北部がマイナスに転じ、強含みの地域は県央部のみ。

取引件数は、県央部が若干の強含みも、他地域は引き続き低調。

今回と過去9回の中古住宅価格D I（実感）比較をみると、沿岸北部が33.3⇒4.2⇒26.5⇒15.4⇒25.0⇒20.0⇒21.9⇒17.6⇒6.7⇒▲28.1、沿岸南部は50.0⇒11.1⇒45.8⇒27.8⇒28.6⇒30.0⇒22.2⇒11.8⇒▲4.5⇒▲6.7と、北部が大きく弱含みに転じた。県央部は、▲2.5⇒▲2.0⇒▲2.5⇒2.8⇒10.8⇒8.6⇒8.0⇒▲0.5⇒1.7⇒2.7と、前回は引き続きプラスで、唯一強含みのエリアとなっている。

取引件数D Iについては、沿岸北部が40.0⇒0⇒5.9⇒▲11.5⇒3.3⇒▲10.0⇒▲3.3⇒0⇒0⇒▲12.5、沿岸南部は33.3⇒▲20.0⇒0⇒0⇒0⇒0⇒0⇒0⇒0と沈静化の兆しが覗える。他の地域は、県央部が▲4.8⇒1.4と若干の強含みとなったものの、内陸北部・南部は低調な推移を続けている。

■ 転用目的の農地・山林の取引件数

全ての地域での低調を継続。

今回と過去8回（H23.9時点以降）の農地・山林取引件数D I（実感）比較をみると、沿岸北部が▲7.1⇒▲13.3⇒▲4.2⇒▲3.8⇒▲6.3⇒▲13.3⇒▲3.8⇒▲18.8⇒▲23.1、沿岸南部が▲6.3⇒11.1⇒16.7⇒35.0⇒13.6⇒0⇒▲3.8⇒▲22.2⇒▲20.0と、前回D Iを大きく下げた沿岸部をはじめ、全ての地域でD Iのマイナスを継続した。

■ 問9：震災から約4年半を経過した現在における不動産取引で特徴的な事項

① 沿岸北部

- 空家が多くなっている。（久慈市）
- 中古住宅の販売依頼が多くなってきていると思う。価格は安価になってくると思う。（久慈市）
- 復興が進むにしたがって、売買取引が減少し、地価が下落する。また、賃貸物件は入居率が下落し、賃料も下落する。（久慈市）
- 所有者の高齢化により、空家が増え中古物件の売り物が増えるが、経過年数、保守管理、リフォーム経費の額により、契約件数は思ったほど伸びないと思う。（久慈市）
- 空家問題で、空家を解体した跡地の売買希望は増加すると予想されるが、道路事情、区画、解体費用等の関係で、契約件数はどれほど増加するか予測できない。（久慈市）
- 相続に伴い、相続人が地元でない場合に、利用しない農地・山林を処分したいとの相談が多くなっている。その結果、農地・山林の価格が想像以上に下落している。（久慈市）
- 住宅用地、中古住宅が不足している。（久慈市）
- 被災者や、復興絡みで工事業者を含めた賃貸物件入居率がほぼ100%で推移している。（久慈市）
- 住宅地購入希望者も、金額（価格）が高くても場所にこだわるようになった。（久慈市）
- 平成28年3月に最大の高台住宅地が完成すればほぼ事業は終息する。土地区画整理はたいした件数がない。土地は過剰になり、貸家や村営住宅は空きが出てくる。（野田村）
- アパート物件不足。（宮古市）
- 建築コストが高いため、住宅ローン等の資金不足の方が多く見られる。（宮古市）
- 工事関係者の賃貸住宅への需要が収まらない。未だ不足している状況である。（宮古市）
- 住宅は郊外への需要が減少傾向である。中心地か、中心地に近い住宅街・団地への要望が多いが、被災地域であったり郊外より高値であったりと条件が合わない。中古住宅購入希望も多いが、供給不足である。（宮古市）
- 適正な価格での取引にまだなっていない（地主が強気）。（宮古市）
- 当社のエリア（宮古）では被災者の需要は減ってきている。
- 住宅の潜在的需要はあるが、資金的面で進まない。（山田町）
- 中古住宅の不足が大きいと思う。（山田町）

② 沿岸南部

- 震災後、借地にて住宅新築した方々が底地を買い取る傾向があり、売買価格の相談が目立つ。また、商業地については、道路新設及びかさ上げ計画もほぼ固まり、それを見越して地主との交渉に入っていることも散見される。（大船渡市）
- 震災関係の建設業者従業員用宿舍の需要は、現在は一服といった所。（大船渡市）
- 今年に入り取引が減少し始め、土地の価格も3年前と比較すると下落している。（大船渡市）
- 高台移転や、自力再建住宅の完成がほぼ終了し、残りの仮設住宅の人々は若干建築に申込みがあるものの、取引は震災前に戻ると考えられる。また、若い人は土地の面積を少なくしているが、これは建物の価格が高止まりしているため。（大船渡市）
- 被災者の自立再建の動きが落ち着いてきた。（大船渡市）
- 高台宅地開発が遅れているので宅地（完成地）があれば足が早い。（陸前高田市）
- アパート入居率が高い。（陸前高田市）
- 建築業として、役所指定の高台移転が開始されるが、建築主の高齢化が進み、小規模、低価格の住宅が要求されてくると想定している。（陸前高田市）
- 高台移転が本格化、進行して買う人が減った。（陸前高田市）

- 一般の住宅地の販売は低調で、町の造成地の動きが活発である。（大槌町）

③ 県央部

- 住宅用地が不足している。（盛岡市）
- 外注費が上昇している。（盛岡市）
- 住宅用地不足は続いている。新築工事単価が上昇したため、中古住宅の不足が続いている。（盛岡市）
- 賃貸物件（住宅用）の入居率は93%程度となっている。（盛岡市）
- 投資用物件が少なくなっていると思う。（盛岡市）
- 仙台市ではバブル天井とみられ始めている。盛岡には来ないで終わりそう。（盛岡市）
- 中古住宅等は、リフォーム代が上昇していることもあり、実質は下落しているようなものである。（盛岡市）
- 贈与の非課税の特例を使った建築が増加している。（盛岡市）
- そろそろ被災地の方の入居や住宅購入は落ち着いたと思われる。（盛岡市）
- 釜石など沿岸部からの投資（アパート）が増加（盛岡市内）。
- 沿岸地域から移住する人は落ち着いた。（盛岡市）
- 一度上がった建築資材の値上がりは上がったままで、売価を上げられないので困る。（盛岡市）
- 物件が不足している（特に中古物件が無い）。（盛岡市）
- 需要があっても供給不足で、若干価格が上がっている気がする。（盛岡市）
- 盛岡市の取引が集中している。（盛岡市）
- 少しずつだが、盛岡近隣に建物（中古新築問わず）を求める方がいる。（盛岡市）
- 資金面で購入を見合わせる方もいた。（盛岡市）
- 現在のところ大きな動きがない。（盛岡市）
- 落ち着いてきたと思う。（盛岡市）
- 転勤の方々は、シングル（単身）よりファミリーが増えた。（盛岡市）
- 住宅用地不足、収益物件不足。（盛岡市）
- 災害復興住宅融資の増加が見られる（住宅金融支援機構への取次）。（盛岡市）
- 着工から竣工までの期間が長くなっている（当店でいうつなぎ融資借入期間の長期化から）。（盛岡市）
- 盛岡市盛南開発エリア、矢巾町及び滝沢市大釜を除いて価格下落は継続している。（盛岡市）
- 金融機関の住宅ローン貸出意欲は継続して旺盛。（盛岡市）
- 県の借り上げ賃借人が購入に向け、中古マンション、中古住宅、新築が動き始めている。（盛岡市）
- 職人不足。（盛岡市）
- 土地購入の需要がかなり増え、物件が不足している。（盛岡市）
- 地域（学区等）による需要の度合いの違いがみられる。（盛岡市）
- 特に変化なし。（盛岡市）
- 労務単価、材料価格が合わない等が原因での工事の入札不調は、幾分減少してきた。震災以前の様な価格競争の時代に戻りつつあると感じる。不動産市場も震災以前の状況に落ち着きつつあるようだ。（盛岡市）
- 震災の影響（特に需要の増加）はなくなった。但し、一般住宅の建築費高騰の影響により、取引は慎重になる危惧あり。（盛岡市）
- 南エリアに需要が集中している（盛南開発地域）。（盛岡市）
- 売買については、被災者の動きはほぼ落ち着いていると思われる。盛岡市内でのみなし仮設が延長となっているのも原因かと思われる。みなし仮設の契約延長が切れたタイミングで売買仲介、賃貸仲介にも若干の動きが期待できると思う。（盛岡市）
- 盛南エリアから旧都南（津志田・永井・見前）エリアの需要が日々高まっている。特に土地に関して、相場よりかなり高く販売している物件もある。（盛岡市）
- 買取業者が増えて、買取額も上がり、販売価格も高くなっている。（盛岡市）
- 被災者の転居、不動産取得等は落ち着いた様。（盛岡市）

- 住宅取得の為の土地の一次取得者の需要が増えていると感じる。(盛岡市)
- 職人不足により、工事が思うように進まない。(盛岡市)
- 収益物件(アパート、一棟マンション)の需要が増加している。(盛岡市)
- 買取販売が増えている。(盛岡市)
- 工事費の上昇による、賃料の上昇が考えられる(建材の一部及び職人の手間の上昇による)。(矢巾町)

④ 内陸北部

- 賃貸物件の入居率が上昇。(八幡平市)
- 土地の購入者は減少、中古住宅の需要が依然として高い。(八幡平市・問10でも同様の回答)
- 低所得者の中古希望の増加、高所得者の購買減。(八幡平市・問10でも同様の回答)
- 空家の増加に伴った相談が増えている。(二戸市)
- 特に旧商店街は、人口減少により空家が増えている。(二戸市)

⑤ 内陸南部

- 震災後に多くみられた内陸への移住が殆ど無くなってきた。(花巻市)
- 高台移転用地を待つお客様が、内陸に見学に来ることが多い。(花巻市)
- 消費税増税に向けて動き出した方は多いが、本格的ではない。(花巻市)
- 特定の職種の職人不足が続いている。(花巻市)
- 中古住宅が人気があるが、中古住宅の不足が続いている。(遠野市)
- 震災以降、当営業エリア内で移住のため土地を求め建築される方が多くいたが、現在は高台移転を待つ人が多く、売買の動きはかなり減少している。(遠野市)
- 地元の動きとしては、自社分譲地が完売したものもあり、条件が良い土地に関しては動きが見られた。(遠野市)
- 勤続年数が短い顧客が増えた。限られた金融機関にしかローンの相談が出来ない(フラット35)。(北上市)
- 中古住宅の不足が続いている。(北上市)
- 既存債務などで、住宅ローンの活用が出来ないでいる人が多い。持家による住宅再建を諦める人が少なくない。(北上市)
- 住宅用地、中古住宅の不足が続いているが、被災者の不動産購入は全く無くなった。(奥州市)
- 購買意欲のある人となない人との二極化。(奥州市・問10でも同様の回答)
- 戸建賃貸物件は、空室となっても需要があるものの、単身向けアパートは需要が低下傾向。また、家賃3万円以下の物件(アパート)の問い合わせが増加。(一関市)
- 昨年から増加したが、本年後半は減少。(一関市)
- 震災から約4年半を経過、当社営業地域においては震災関連の解体等はほぼ終了し、新築・改築等も、国・県・市等の補助金対応にて概ね終了したものと思われる。(一関市)
- 不動産取引自体は大きな動きは見られなく、震災での避難や、高齢化に伴い空き家対策の重要性が大きく、行政サイドでも動きが顕著である。(一関市)
- 期待した程多くない。(一関市)
- 中心部、その周辺の価格下落により、郊外地の引合いが大きく減少した。(一関市)
- 宅地造成→住宅新築の増加。(一関市)
- 中古住宅の売買が活発化。(一関市)
- 被災地からの転入希望者が激減しているように思われる。(一関市)
- 宅地は、必要以上に求めないという20代~30代のファミリーが増え、土地は60坪程が好まれる。土地+建物の総体金額を安価にライフスタイルを崩さない賢明な考え方になってきている。(平泉町)

■ 問10：消費税率引上げに伴う、最近の不動産取引の動向

① 沿岸北部

- 前回8%への引上げでは、駆け込み需要が多くみられたが、今のところは前回ほどではないように感じている。(久慈市)
- 土地で考えれば消費税は関係ないが、建物についても“給付金”等があるため、深刻には考えていない様子。(久慈市)
- すまい給付金があるので、あまり影響ない。(野田村)
- 住宅用地の需要が一時期より少なくなっており、税率引上げの駆け込みはそれ程でもないと思われる。(宮古市)
- 現在のところ横ばいだが、被災者の高台移転や消費税率10%引上げに向けて、増税前の宅地・建物の売買契約が加速する可能性がある。(宮古市)
- 消費税率8%に引上げではそんなに影響はなかったが、10%になった時の影響が大きいと思う。(宮古市)
- 多少消費税に反応しているが、根本的資金の問題が多い。(山田町)

② 沿岸南部

- 影響は目立った動きは感じられない。(大船渡市)
- 来年の10%の増税を見込み、来春の4月以前の着工を目指している方が多く、その後の取引は全く見えない。(大船渡市)
- 消費税率引上げの反動で、一時成約が落ち込んだものの、最近は持ち直しの傾向にある。(大船渡市)
- 建築・土木とも工事価格の高止まりが続いている。(大船渡市)
- 当地は建物価格が上昇しているが、建主は仕方なく着工している。(陸前高田市)
- 沿岸地域では当分の間取引は低めのままとと思われる。(陸前高田市)
- 変化はなし。(陸前高田市)

③ 県央部

- 8%引上げ後の反動は無くなり、10%引上げ前の駆け込みが増加してきている気がする。(盛岡市)
- 税込みで上限額を決めてくる客が多いため、実際は下落に等しいのではないかと。取引の手数料まで税込みで〇〇円にしてくれという所もあり、経済状況としては非常に厳しいものと考えられます。(盛岡市)
- 消費税率引上げの反動で一時成約が落ち込んだものの、最近は持ち直しの傾向にある。(盛岡市)
- 8%の税率そのものは気にならなくなっていると思うが、建築資材や人件費の高騰や、次の10%の税率が懸念される。(盛岡市)
- 消費税10%になる前に住宅購入しようとする動きが見受けられてきた。(盛岡市)
- 10%への増税に向けて、持ち直しの傾向にある。(盛岡市)
- 現在は影響なし。今後、駆け込み需要が出てくるとみられる。(盛岡市)
- 10%になったら倒産しそう。(盛岡市)
- 次回消費税率引上げに対応してか、活性化しているのでは。(盛岡市)
- 個人住宅が伸びていない。(盛岡市)
- 反動落ちが見られたのは取扱い件数の多い大手ハウスメーカー。当社の取引先である零細工務店は、駆け込み需要など好況時には、受入れ能力の問題があってもあまり増加しないが、反動落ちの時期も受注しないと生きていけないから、きちんと例年並みの受注を確保する動きが見られる。(盛岡市)
- 当社(零細工務店)に限っては、建築基準法ショックのような物理的低下要因での影響はあるが、好不況での変動はあまり感じられない。(盛岡市)
- 消費税率引上げにより落ち込んでいる。(盛岡市)
- 6月頃から取引の減少の兆しが見える。(盛岡市)
- 土地を決めて、建物請負を急いでいる人は5%から8%への引上げから少なくなっていると実感している。(盛岡市)
- 増税後の売買はかなり落ち込むと思う。(盛岡市)

- 変化なし。(盛岡市×2)
- 駆け込み購入が多少感じられる。(盛岡市)
- 人気地域の宅地は供給不足の状態が続いており、価格が高い状態で推移している。再来年の消費税増税に向け、需要の増加が考えられるので、この状況は続くと思う。(盛岡市)
- 来年に向けての購買意欲が増加すると思う。(盛岡市)
- 引上げ直後の取引の減少からは脱したと感じる。(盛岡市)
- 物件の引合いは増加してきている。(盛岡市)
- 住宅新築から中古物件(住宅、マンション)へ流れる可能性あり。(盛岡市)
- 5%→8%の引上げについては、消費者にも浸透しきれている感がある。次回8%→10%への引上げの詳細が決定し、また、どの程度の軽減措置が設けられるかで来年度以降の市場に影響が出そう。(盛岡市)
- 買主の減少。(盛岡市)
- 消費税率の反動で落ち込んだものの、やや持ち直しと考えている。(盛岡市)
- 昨年の4月～本年3月まで、収益は大きくダウン。消費税10%になったら商売がダメになるかもしれない。(盛岡市)
- 8%になっても大きな影響はない。(盛岡市)
- 10%になる前に新築住宅を建てたい人は増えている。(盛岡市)
- 次回増税前に、住宅取得を計画する相談、土地取引が増加した。(盛岡市)
- 消費税10%になり、かなり下落するものと思われる。(盛岡市)
- 販売物件が多くなり、土地価格も下がるのではないかと。(盛岡市)
- 賃貸で、ローン相当の家賃で借りている方が、中古住宅等を買うケースが増えているように感じる。(盛岡市)
- 特別、成約が落ち込むなどなかった。(盛岡市)
- 10%に上がる前の駆け込みがあるかもしれない。(盛岡市)
- 一般住宅はほとんど消費税がかからないので、中古住宅の場合影響がない。(盛岡市)
- 消費税よりも、工事費の上昇の方が大きいのでは。商業用建物では、震災前の倍近い工事費もあり。(矢巾町)
- 住宅地の動向が多くなっている。(矢巾町)
- 特に変化ない。(矢巾町)
- 最近は持ち直してきていると感じる。(滝沢市)

④ 内陸北部

- 都市計画により区画された土地に人気集中している(税率引上げ関係なく)。(二戸市)

⑤ 内陸南部

- 8%に上がった当初よりもお客様は動いているが、極端に増えたということもない。(花巻市)
- 10%を控え、検討を始めた方が多く見られるが、ただ見ているだけが多く、焦りは感じられない。(花巻市)
- 現段階まで特に影響はない。(花巻市)
- 消費税率の引上げの反動で成約が落ち込み、そのまま横ばいが続いている。(花巻市)
- 現在は落ち着いている。(花巻市)
- 特に以前と変わらないと思う。(遠野市)
- 殆ど変化は無い。(遠野市)
- 消費税引き上げによる落ち込みは特になかったが、今後の10%への引き上げによる駆け込みは予想される。(遠野市)
- 現在のところ、動向に変化なし。値上の話になると、中止の傾向になる。(北上市)
- 一時、成約件数は落ち込んだが、最近は(ワンルーム中心に)持ち直してきている(トヨタ東日本関連の派遣会社の成約が増えてきている)。(北上市)

- 引上げ後、あまり落ち込みがない。(北上市)
- 特に変化なし。(北上市)
- この先、消費税8%から10%に増税されることによって、価格がどうなるか模様待ちで、成約が落ち込んでいる。(北上市)
- 消費税引上げの影響を感じることは無くなった。(奥州市)
- 次の増税(10%)時の駆け込み需要を期待して、住宅メーカーの土地購入が増えた。(奥州市)
- 持ち直し傾向にある。(奥州市)
- 特に消費税の影響はないと思う。(奥州市)
- 消費税率引上げで落ち込んでいる。(一関市)
- あまり影響なし。(一関市)
- 消費税変更が考えられている現在、以前の駆け込み需要的な大きな動きは、今回の変更では考えられない。震災を始めとして、社会的、経済的に体力が疲弊しており、大きく動かたくても動けないのが現状と思われる。(一関市)
- 成約が落ち込んでいる。(一関市)
- 2017年4月からのため、まだ影響は出ていない。(一関市)
- 消費税引上げ時に混乱はなかったが、今になって建築資材が高騰してきている。(平泉町)
- 8%消費税で建築された方の「すまい給付金」の対象者の要件が厳しい。当社では1件も対象にならなかった。(平泉町)

■ その他(市場の現状、先行きの動向予測や、国、県、市町村、当調査等への意見・要望等)

国等への意見要望などとして、(1)市街化調整区域、農業振興地域の見直し、(2)工事費高騰に対する方策、(3)空き家・空き地対策及び利活用のための施策、(4)少子高齢化・人口減少に対する活性化策を希望する声などが寄せられた。

① 沿岸北部

- 少子高齢化、人口減で、久慈地区も空家が多くなっている。久慈市として対策に力を入れ始めている。仕事を通じて考えると、この地区は若者の雇用対策で、誘致企業を久慈市にお願いしたい。
- 農地法等、土地に被さる網の規制緩和が以前よりも厳しくなっており、土地の取引を抑制しているため、経済効果の妨げとなっている。(宮古市)
- 産業復興が進まず、所得を生み出すことができないので、住宅再建に不安を感じている人が多い。お年寄りが多いのも不動産投資、再建が進まない要因となっている。(山田町)

② 沿岸南部

- 当地区においては、防集高台移転造成もほぼ完成し、次々と新築住宅建設ラッシュの様相。災害公営住宅も来年早々には入居開始のため、住宅用地需要は一段落といった所。(大船渡市)
- 完成した土地はほぼ売却され、新たな山林や農地を開発したいが申込があるかどうか不安で、物件はあるが足踏み状態である。(大船渡市)
- 工事費高騰に対する抑制対策を行ってほしい。(大船渡市)
- 工事業者の人件費が高すぎる。(大船渡市)
- 公営住宅の空室が目立つ。若い人はどんどん入居をしているようだが、高齢者は仮設の方が隣人と話ができるので引越したくないようだ。公営住宅にも各階に小さなコミュニティスペースがあれば良いと思う。(陸前高田市)

③ 県中部

- 盛岡市において、市街化調整区域の見直しを行ってほしい。

- 人口減少＝世帯減少、少子高齢化が進んでいるのが実感できる様な状況になっており、市街地、住宅街、山村集落等、それぞれで特色ある活性化策を実行しなければならない時期にきている（地価や不動産の実質下落歯止策が必要である）。（盛岡市）
- 木材利用ポイントや省エネ住宅ポイントで国は景気向上を狙っているようだが、事前に知って建築を考える人は皆無で、建築業者側の負担が大きいので、こういう政策はやめてほしい。施主はポイントをもらえるが、審査を受ける労力と費用負担があるので、やるなら業者側にも何か付与してほしい。（盛岡市）
- 沿岸訪問時に話されたことだが、何と応じたらよいか分からなかった。①支援は先例との平等性を考慮する必要があると、何年か前に政府高官がマスコミ記者の質問に答えていたそうだが、10年経っても100年経っても同じ支援をするということか？進歩も発展もないなら分かるが。②自立を促すのは分かるが、今の世の中自立したくても出来ないから色々な問題が生じる。海外にはODAとか人道的支援とかで気前よく金を出すのが、日本人は少し鍛えてあげなければという親心なんじゃないか。（盛岡市）
- 調整区域の解除、農振地域の解除を柔軟にお願いしたい。（盛岡市）
- 空き家等の民泊ビジネス等の活性化。（盛岡市）
- 中古住宅の流通化のために、空家の所有者特定（連絡先等）の協力を市町村にお願いしたい。（盛岡市）
- 未利用地の有効活用のため、広い情報提供、地方自治と民一体での宅地、商業地開発等、取り組めればありがたい。（盛岡市）
- アンケートの結果が大変参考となっている。（盛岡市）
- 特に変化ないものと思われる。（矢巾町）

④ 内陸北部

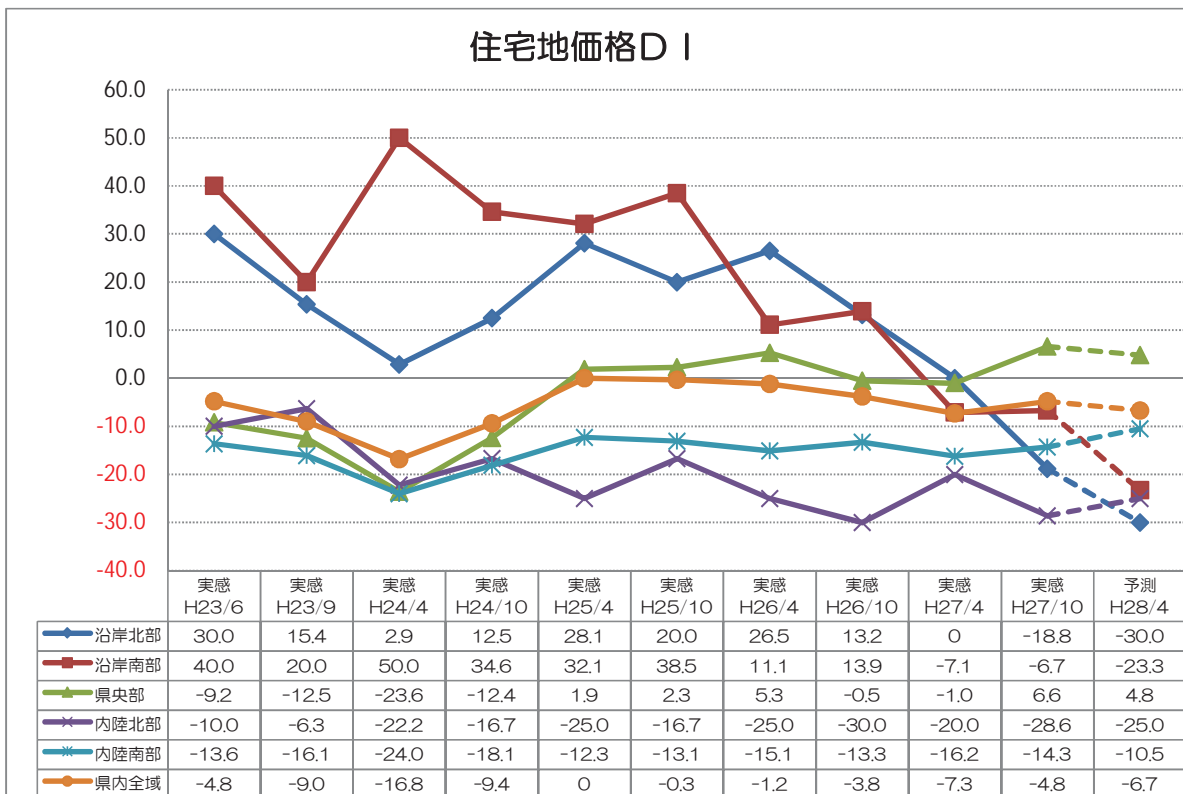
- 地域が人口減少により、マーケットが縮小してきている。同時に高齢化によって需要も減少してきているように思う。（八幡平市）
- シャッター通りを早く何とかしてほしい。（二戸市）

⑤ 内陸南部

- 震災復興に関しては、大臣が変わり、県に挨拶に来たようだが、「猫の目農政」ならぬ「猫の目復興」になることなく、国を挙げての事業であることを強く希望する。（一関市）
- 取引がここ2年間でモデルハウス購入の1件しかなく、動向が的確につかめなかった。（奥州市）
- 中古住宅を投資用に考え、底値で空住宅を購入したいと相談に来られる方が増えた。状況は分かるが適正金額で対応したい。（平泉町）
- 特に被災者に対する国、県、市町村は、被災者の住居問題を解決する対策が必要で、復興の基本ではないかと思う。公共の建物復興よりも、住民を古里に戻す対策を講じなければ、避難先に定住される人が多くなり、街づくりにならない。（北上市）

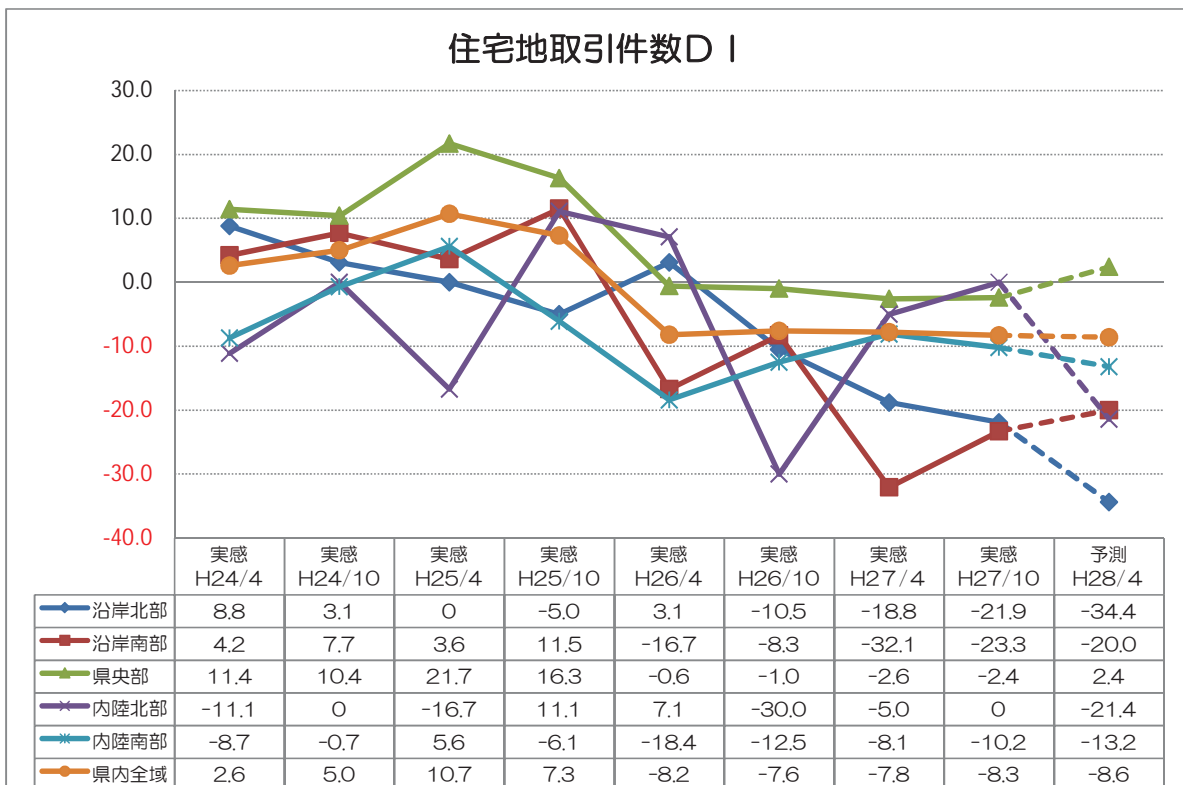
(2) 動向判断指数 (D I) による分析

問3、4



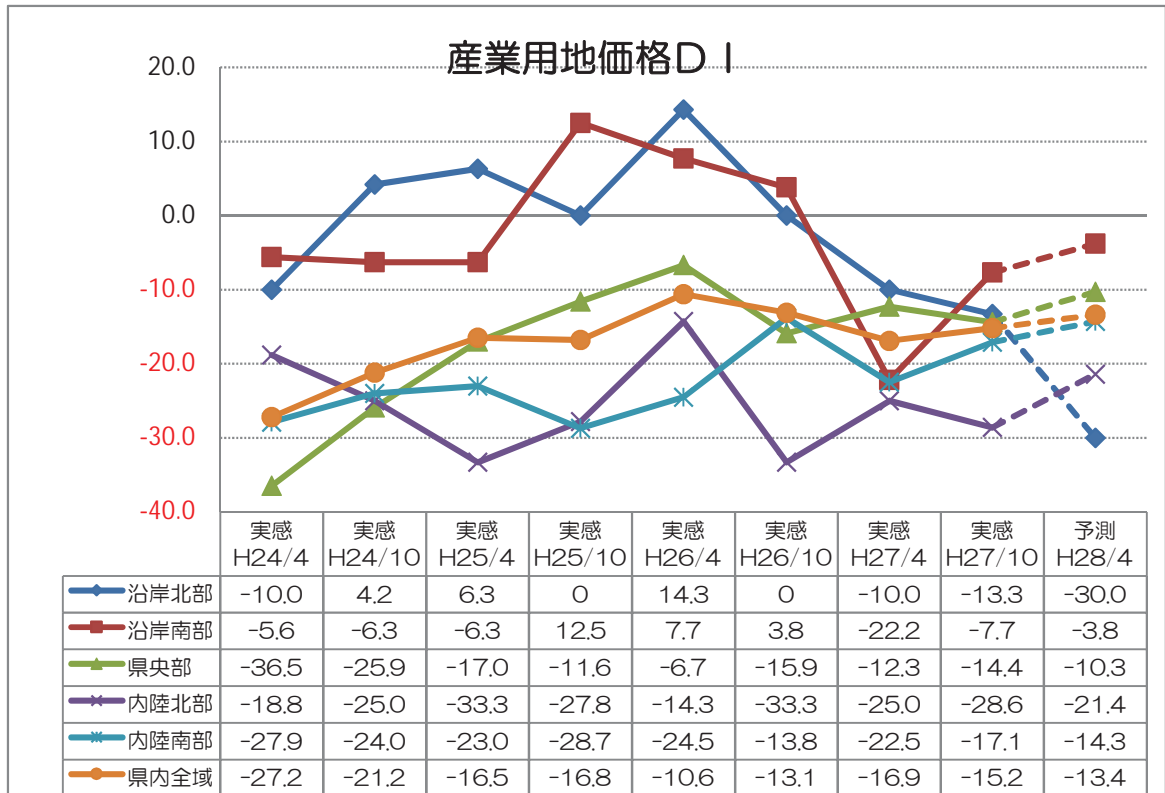
※実感H23/6は第1回調査（H23.6.1時点）の調査結果、実感H23/9は第2回調査（H23.9.1時点）の調査結果、実感H24/4は第3回調査（H24.4.1時点）の調査結果、以後半年ごとの調査で、実感H27/4は第9回調査（H27.4.1時点）の調査結果。（以下同様）

問5、6

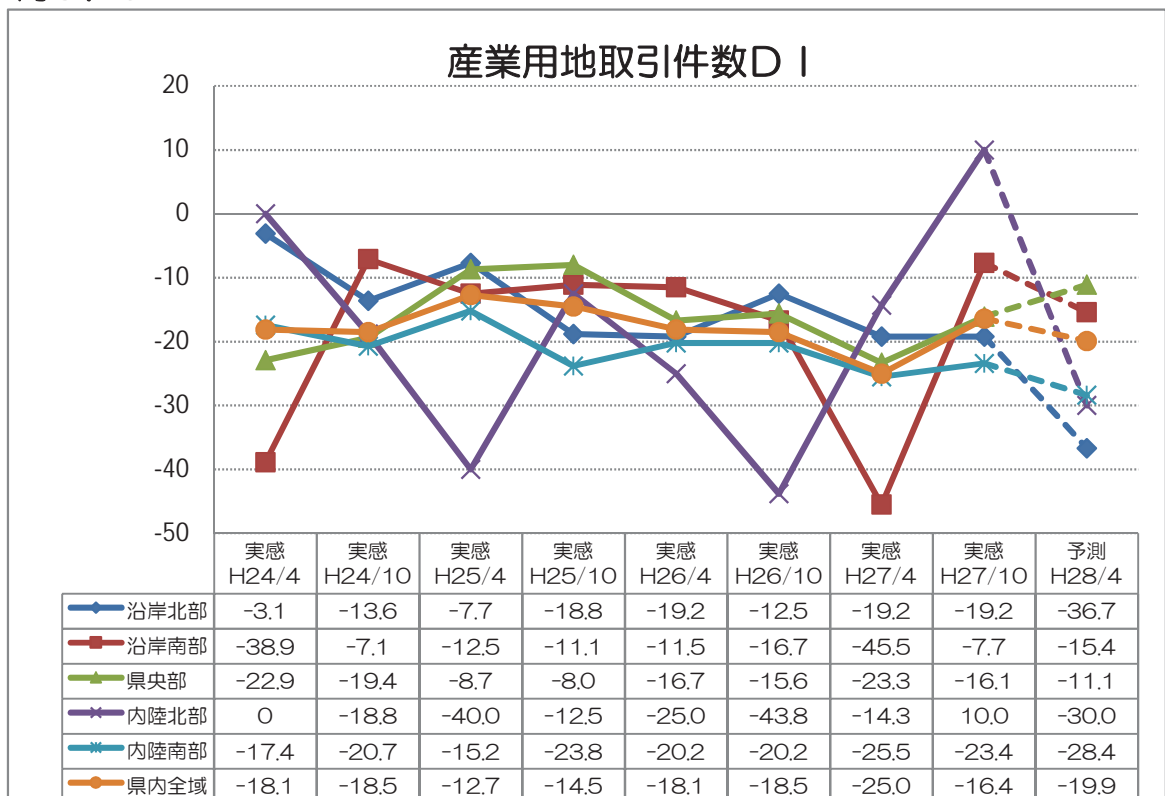


- 価格は、プラスに転じた県中部のみ強含み。沿岸北部は横ばいから大きく鈍化。
- 取引件数は、内陸北部が横ばいとなったものの、その他地域はマイナスを継続。

問3、4

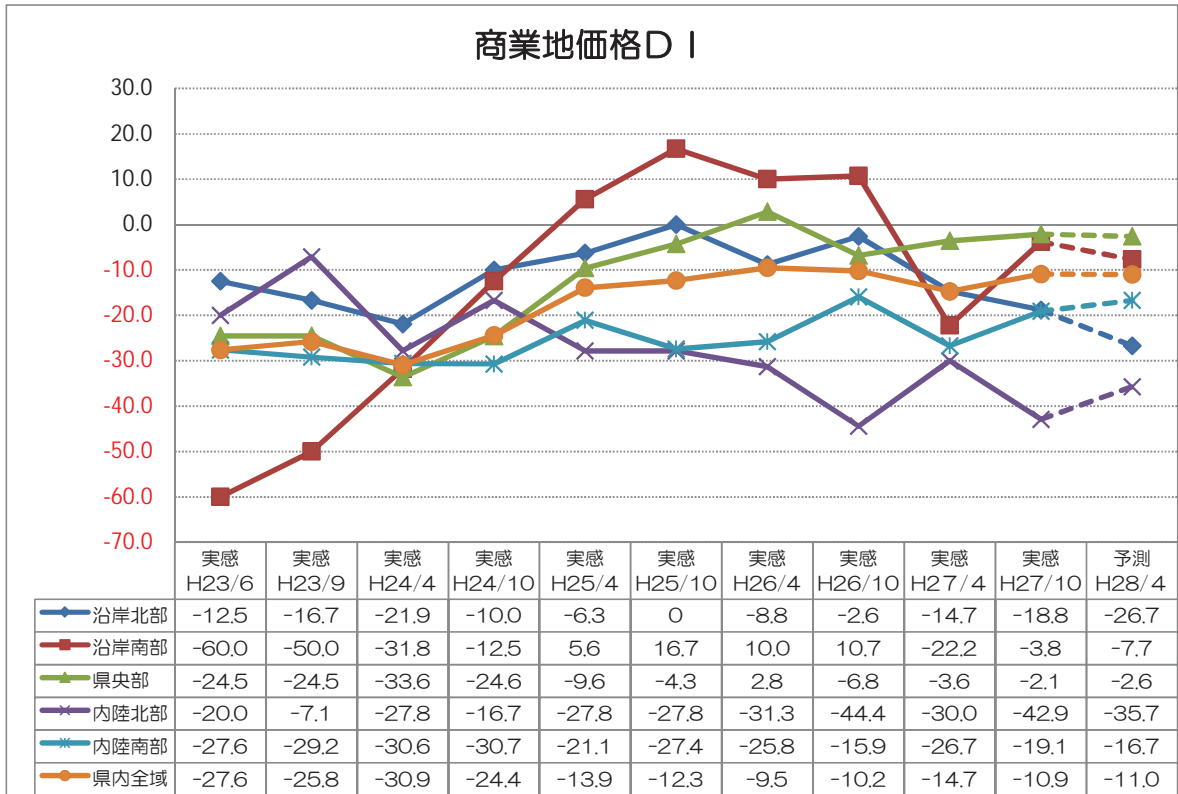


問5、6

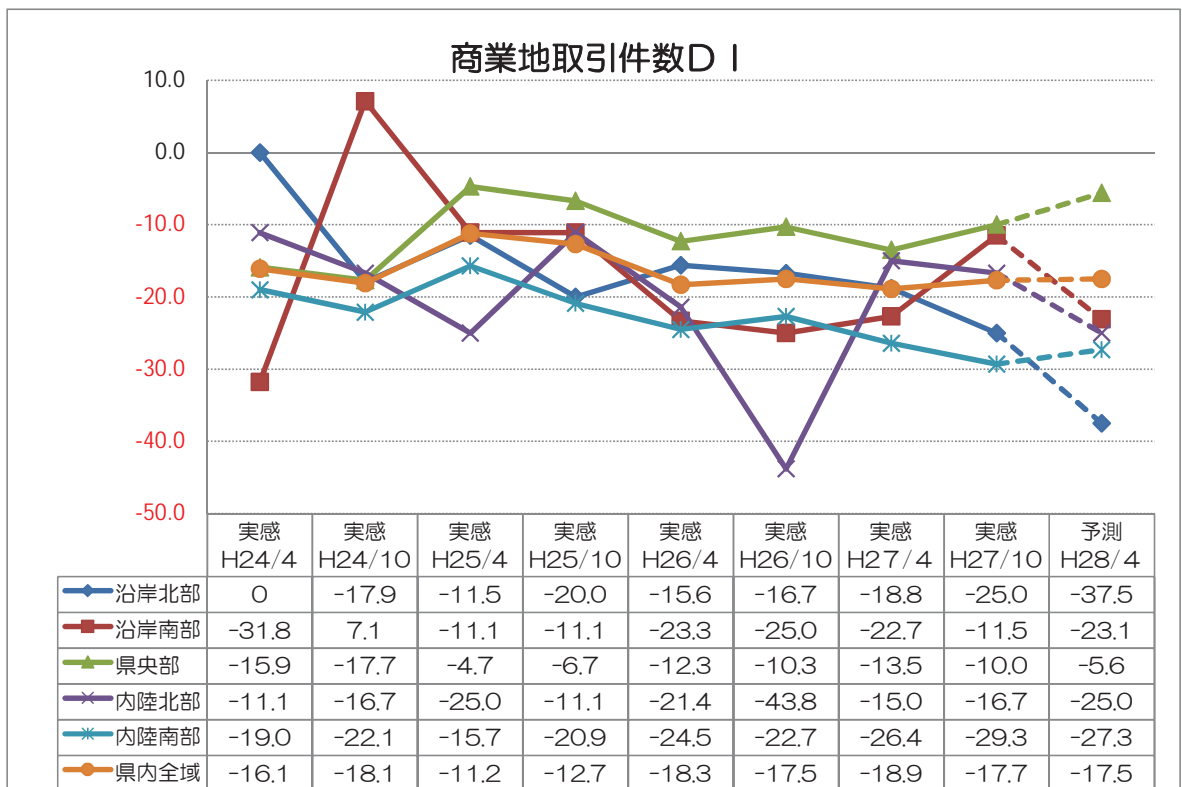


- 価格は、引き続き全ての地域で弱含み。
- 取引件数は、内陸北部がプラスに転じる。その他地域は弱含みを継続。

問3、4

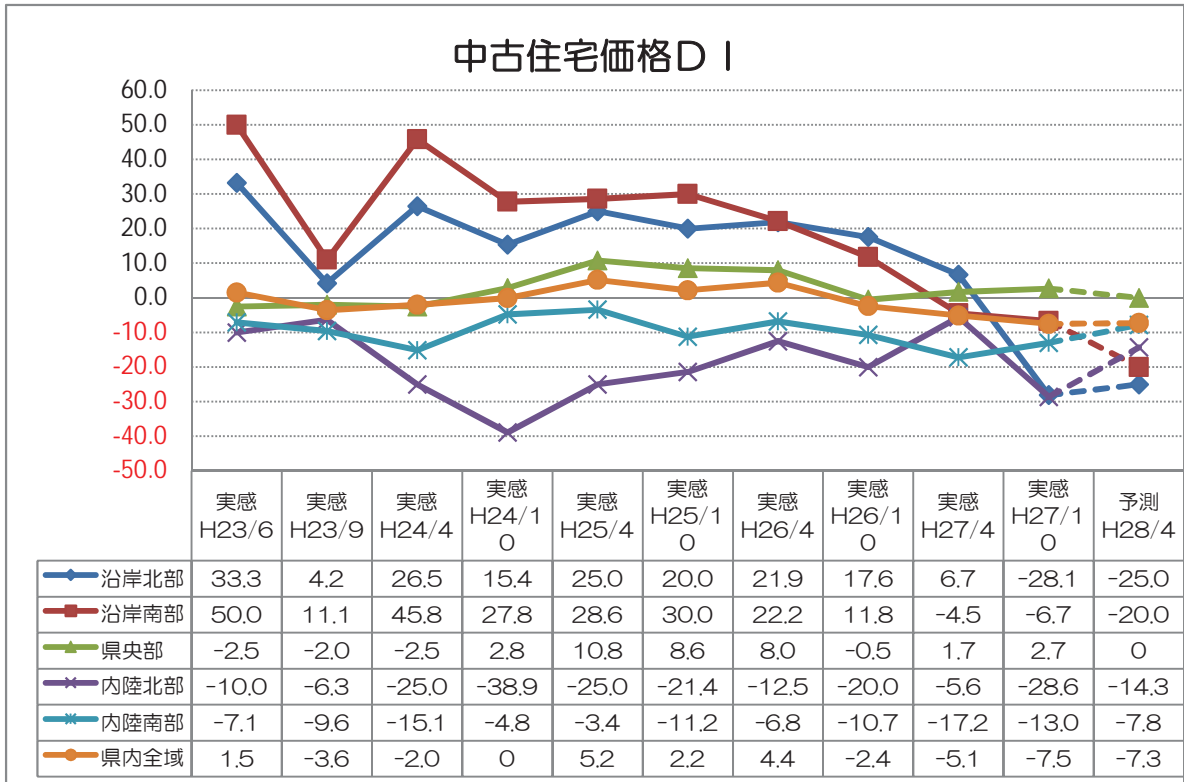


問5、6

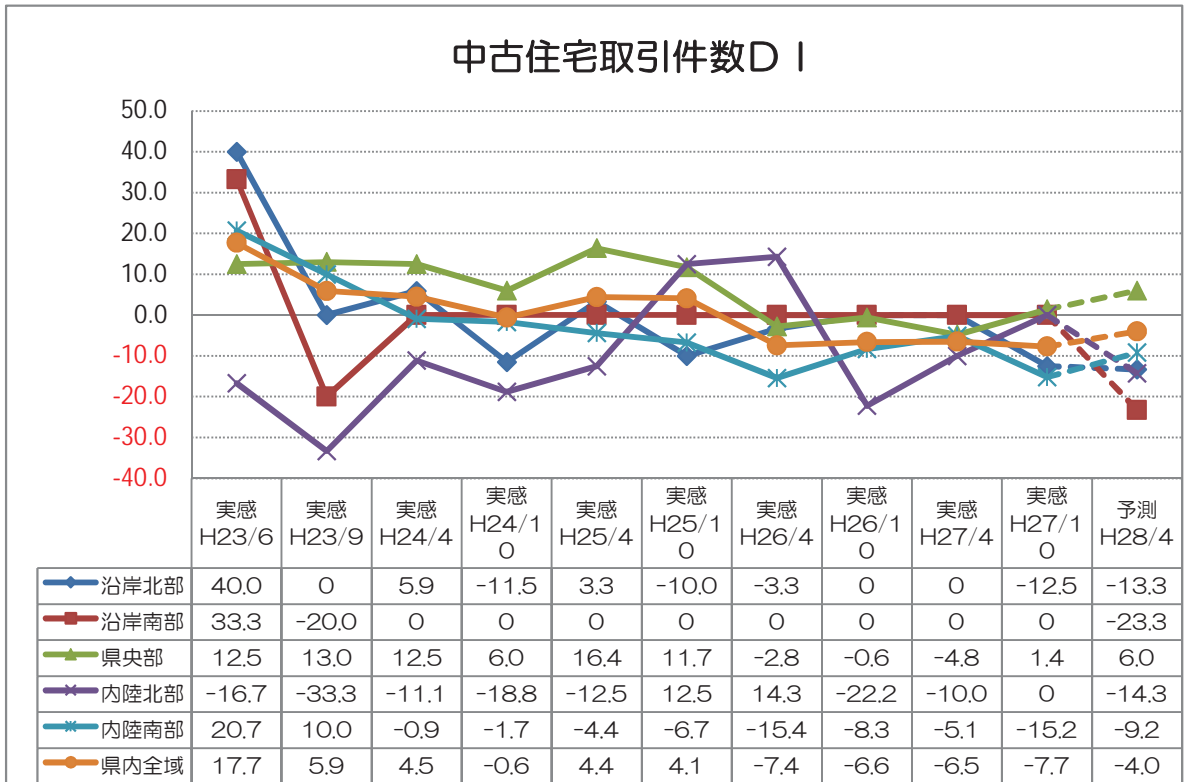


- 価格は、沿岸南部が引き続きマイナスとなり、全ての地域で弱含みを継続。
- 取引件数も、引き続き全ての地域でマイナス。

問3、4

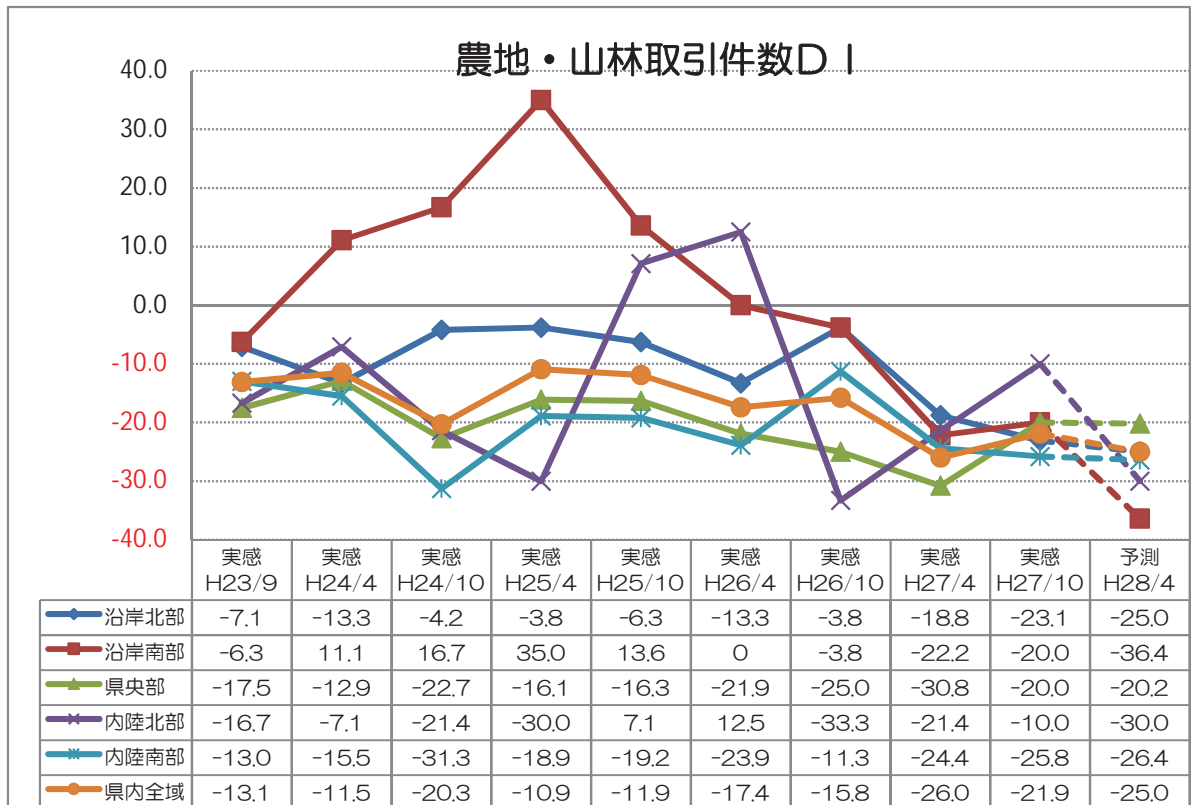


問5、6



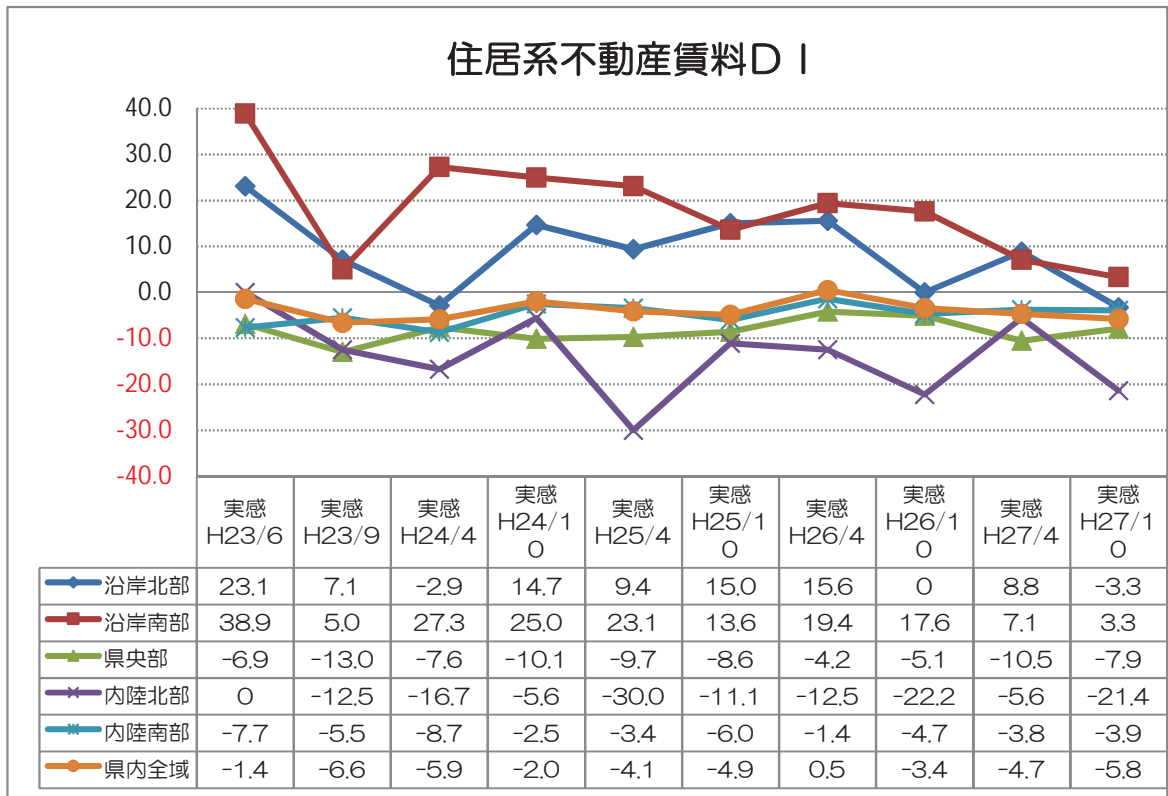
- 価格は、沿岸北部がマイナスに転じ、県央部のみ強含み。
- 取引件数は、県央部が若干の強含み。他の地域は引き続き総じて低調。

問5、6

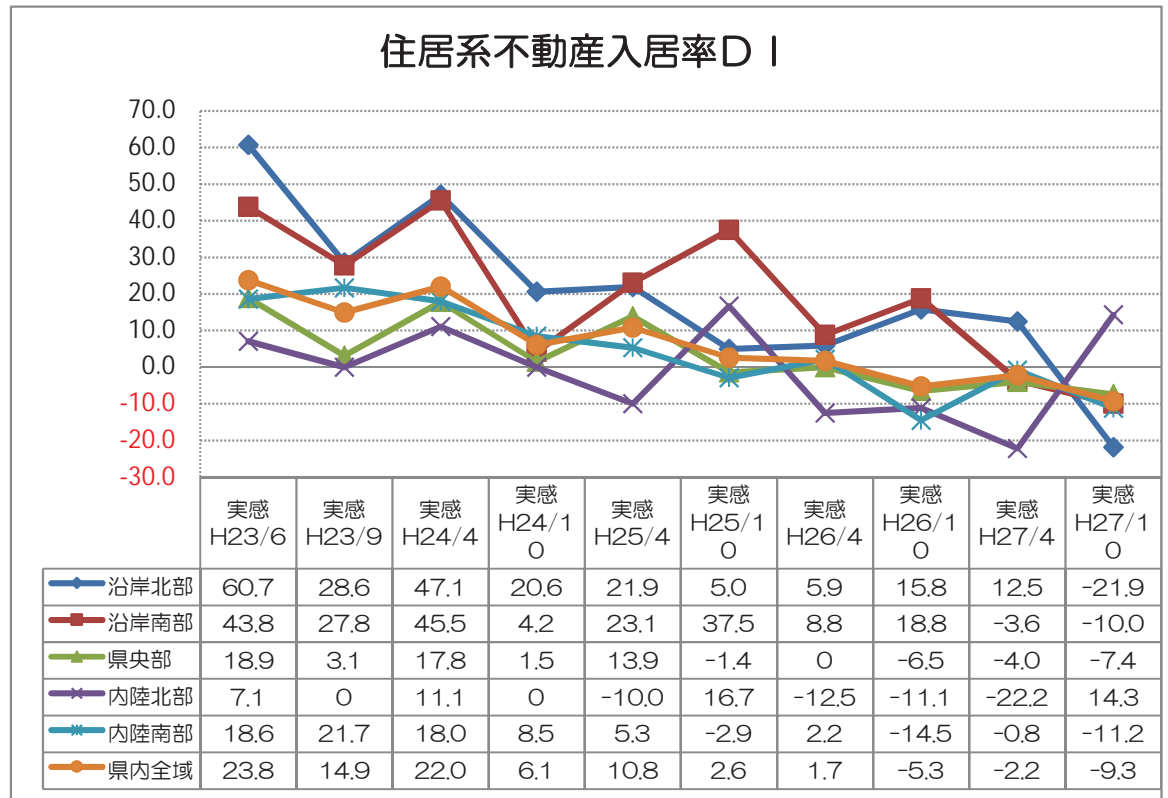


● 前々回調査から全地域での低調を継続。

問7

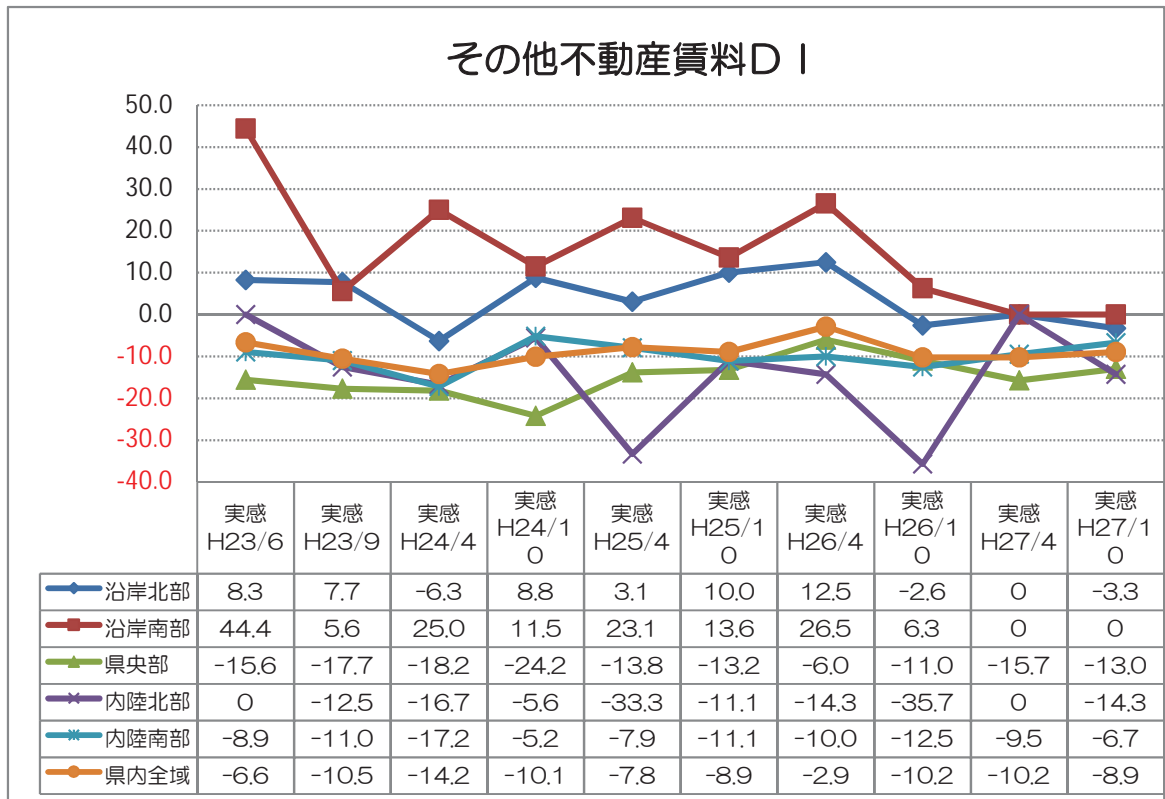


問8

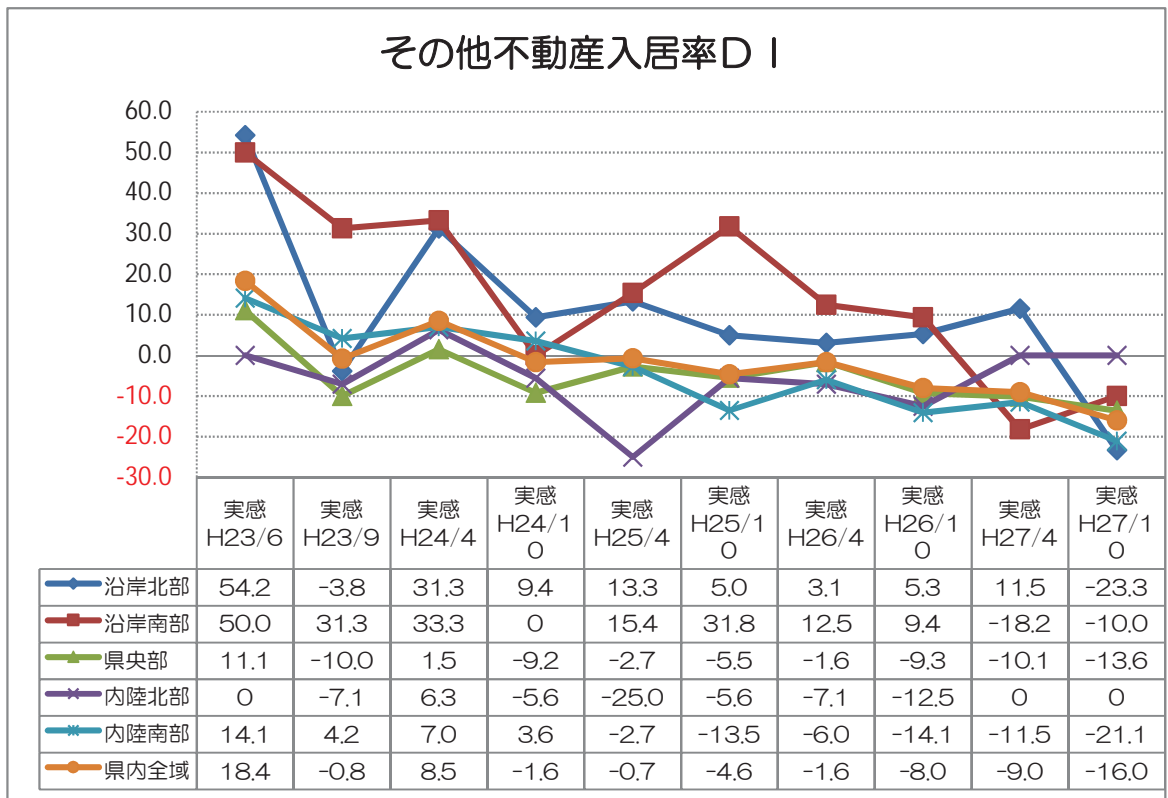


- 賃料は、沿岸北部が弱含みに転じ、強含みの地域は沿岸南部のみに。
- 入居率は、沿岸北部がマイナスに、内陸北部がプラスに転じる。

問7



問8



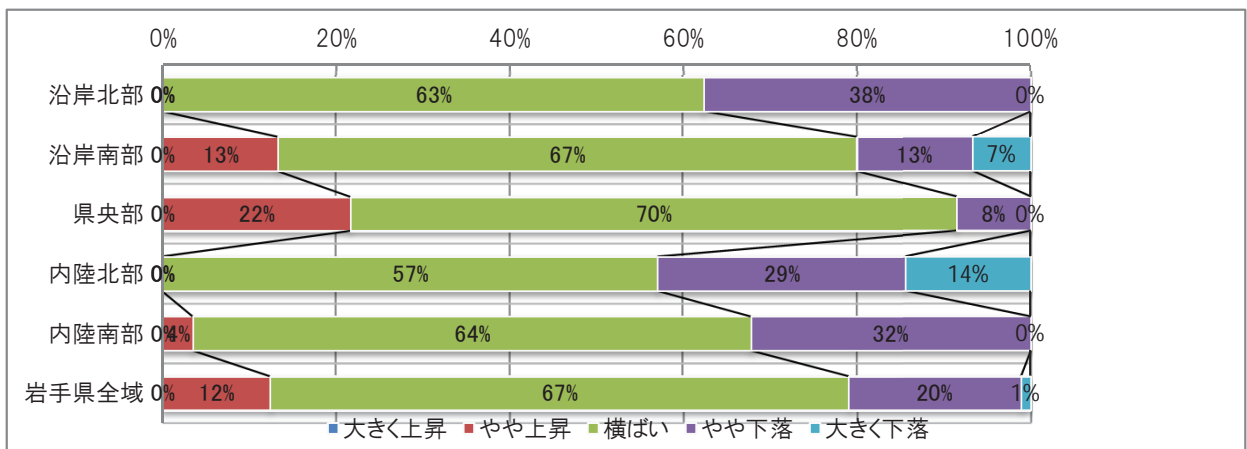
- 賃料は、沿岸南部が引き続き横ばい。他の地域はいずれも弱含み。
- 入居率は、沿岸北部がマイナスに転じる。

2. 設問ごとの回答内訳

問3:取引価格の6ヶ月前(H27.4.1時点)との比較 ①

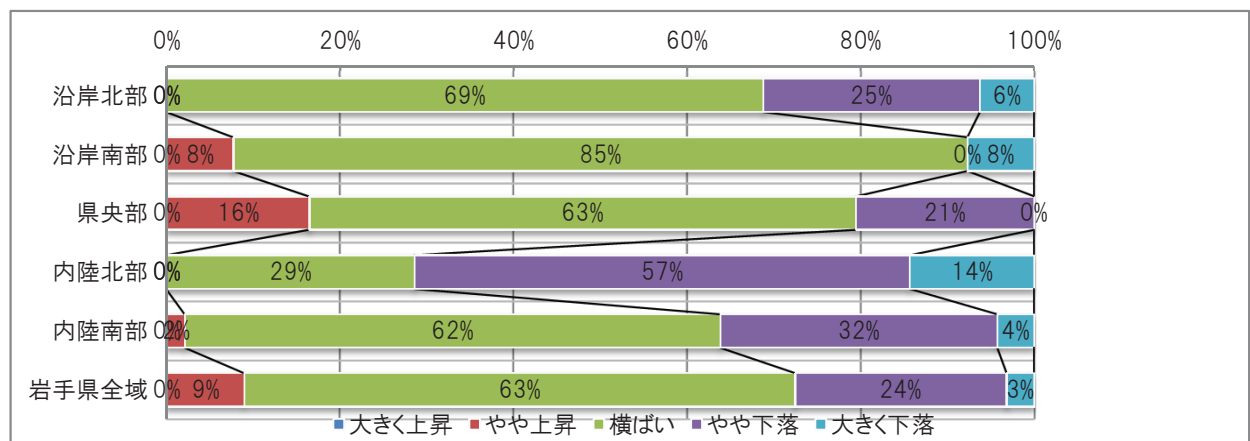
【住宅地】

| エリア | 動向指数 | 大きく上昇 | やや上昇 | 横ばい | やや下落 | 大きく下落 | 小計 | 不明 無回答 | 合計 |
|-------|-------|-------|------|-----|------|-------|------|-----------|-----|
| 沿岸北部 | -18.8 | 0 | 0 | 10 | 6 | 0 | 16 | 1 | 17 |
| | | 0% | 0% | 63% | 38% | 0% | 100% | | |
| 沿岸南部 | -6.7 | 0 | 2 | 10 | 2 | 1 | 15 | 0 | 15 |
| | | 0% | 13% | 67% | 13% | 7% | 100% | | |
| 県央部 | 6.6 | 0 | 18 | 58 | 7 | 0 | 83 | 5 | 88 |
| | | 0% | 22% | 70% | 8% | 0% | 100% | | |
| 内陸北部 | -28.6 | 0 | 0 | 4 | 2 | 1 | 7 | 1 | 8 |
| | | 0% | 0% | 57% | 29% | 14% | 100% | | |
| 内陸南部 | -14.3 | 0 | 2 | 36 | 18 | 0 | 56 | 6 | 62 |
| | | 0% | 4% | 64% | 32% | 0% | 100% | | |
| 岩手県全域 | -4.8 | 0 | 22 | 118 | 35 | 2 | 177 | 13 | 190 |
| | | 0% | 12% | 67% | 20% | 1% | 100% | | |



【商業地】

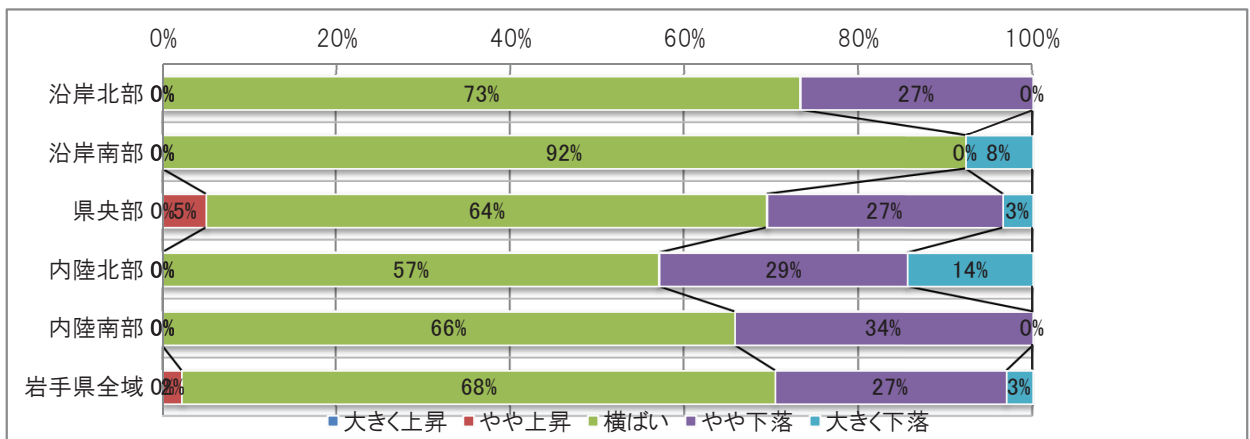
| エリア | 動向指数 | 大きく上昇 | やや上昇 | 横ばい | やや下落 | 大きく下落 | 小計 | 不明 無回答 | 合計 |
|-------|-------|-------|------|-----|------|-------|------|-----------|-----|
| 沿岸北部 | -18.8 | 0 | 0 | 11 | 4 | 1 | 16 | 1 | 17 |
| | | 0% | 0% | 69% | 25% | 6% | 100% | | |
| 沿岸南部 | -3.8 | 0 | 1 | 11 | 0 | 1 | 13 | 2 | 15 |
| | | 0% | 8% | 85% | 0% | 8% | 100% | | |
| 県央部 | -2.1 | 0 | 12 | 46 | 15 | 0 | 73 | 15 | 88 |
| | | 0% | 16% | 63% | 21% | 0% | 100% | | |
| 内陸北部 | -42.9 | 0 | 0 | 2 | 4 | 1 | 7 | 1 | 8 |
| | | 0% | 0% | 29% | 57% | 14% | 100% | | |
| 内陸南部 | -19.1 | 0 | 1 | 29 | 15 | 2 | 47 | 15 | 62 |
| | | 0% | 2% | 62% | 32% | 4% | 100% | | |
| 岩手県全域 | -10.9 | 0 | 14 | 99 | 38 | 5 | 156 | 34 | 190 |
| | | 0% | 9% | 63% | 24% | 3% | 100% | | |



問3: 取引価格の6ヶ月前(H27.4.1時点)との比較 ②

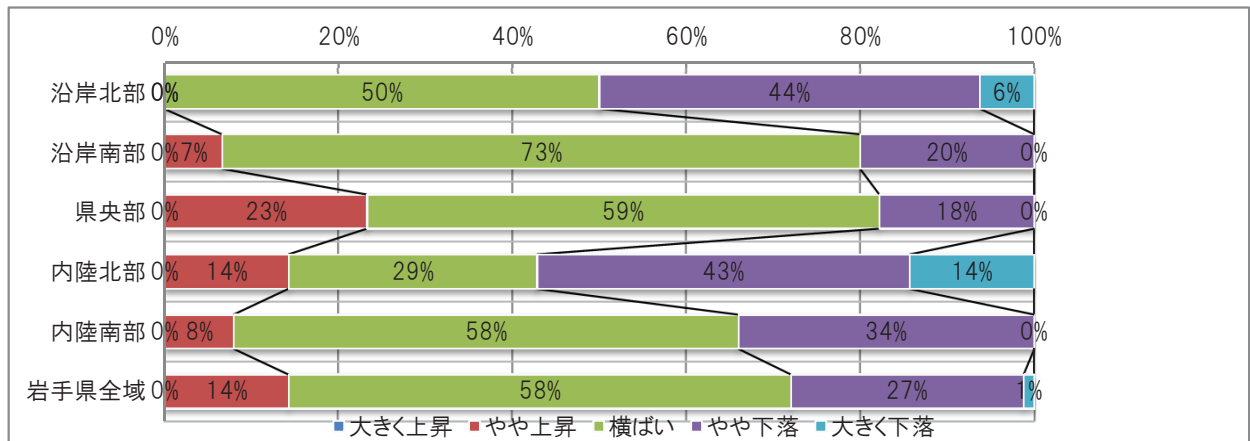
【産業用地】

| エリア | 動向指数 | 大きく上昇 | やや上昇 | 横ばい | やや下落 | 大きく下落 | 小計 | 不明 無回答 | 合計 |
|-------|-------|-------|------|-----|------|-------|------|-----------|-----|
| | | | | | | | | | |
| 沿岸北部 | -13.3 | 0 | 0 | 11 | 4 | 0 | 15 | 2 | 17 |
| | | 0% | 0% | 73% | 27% | 0% | 100% | | |
| 沿岸南部 | -7.7 | 0 | 0 | 12 | 0 | 1 | 13 | 2 | 15 |
| | | 0% | 0% | 92% | 0% | 8% | 100% | | |
| 県央部 | -14.4 | 0 | 3 | 38 | 16 | 2 | 59 | 29 | 88 |
| | | 0% | 5% | 64% | 27% | 3% | 100% | | |
| 内陸北部 | -28.6 | 0 | 0 | 4 | 2 | 1 | 7 | 1 | 8 |
| | | 0% | 0% | 57% | 29% | 14% | 100% | | |
| 内陸南部 | -17.1 | 0 | 0 | 25 | 13 | 0 | 38 | 24 | 62 |
| | | 0% | 0% | 66% | 34% | 0% | 100% | | |
| 岩手県全域 | -15.2 | 0 | 3 | 90 | 35 | 4 | 132 | 58 | 190 |
| | | 0% | 2% | 68% | 27% | 3% | 100% | | |



【中古住宅】

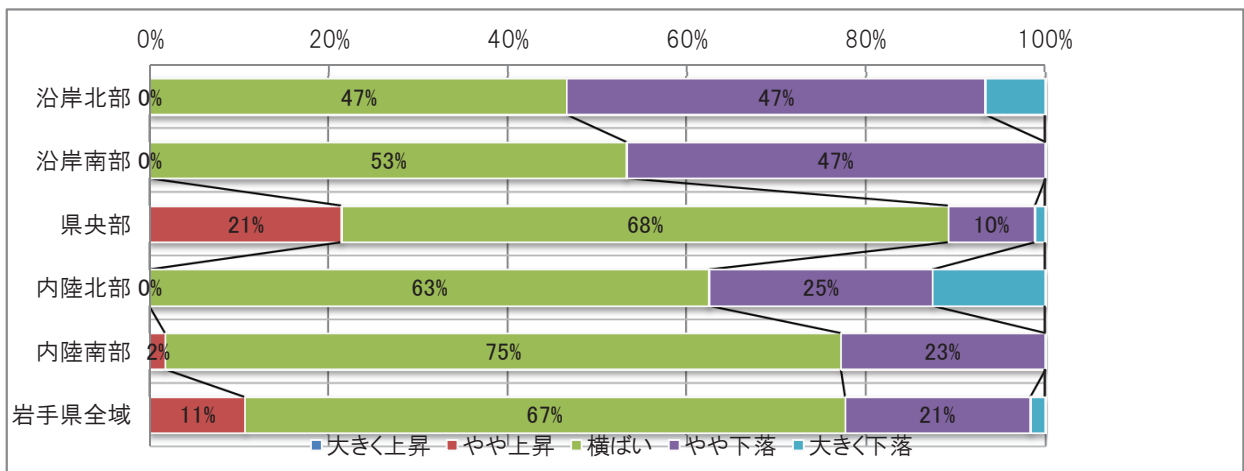
| エリア | 動向指数 | 大きく上昇 | やや上昇 | 横ばい | やや下落 | 大きく下落 | 小計 | 不明 無回答 | 合計 |
|-------|-------|-------|------|-----|------|-------|------|-----------|-----|
| | | | | | | | | | |
| 沿岸北部 | -28.1 | 0 | 0 | 8 | 7 | 1 | 16 | 1 | 17 |
| | | 0% | 0% | 50% | 44% | 6% | 100% | | |
| 沿岸南部 | -6.7 | 0 | 1 | 11 | 3 | 0 | 15 | 0 | 15 |
| | | 0% | 7% | 73% | 20% | 0% | 100% | | |
| 県央部 | 2.7 | 0 | 17 | 43 | 13 | 0 | 73 | 15 | 88 |
| | | 0% | 23% | 59% | 18% | 0% | 100% | | |
| 内陸北部 | -28.6 | 0 | 1 | 2 | 3 | 1 | 7 | 1 | 8 |
| | | 0% | 14% | 29% | 43% | 14% | 100% | | |
| 内陸南部 | -13.0 | 0 | 4 | 29 | 17 | 0 | 50 | 12 | 62 |
| | | 0% | 8% | 58% | 34% | 0% | 100% | | |
| 岩手県全域 | -7.5 | 0 | 23 | 93 | 43 | 2 | 161 | 29 | 190 |
| | | 0% | 14% | 58% | 27% | 1% | 100% | | |



問4:6ヶ月後の取引価格の予測①

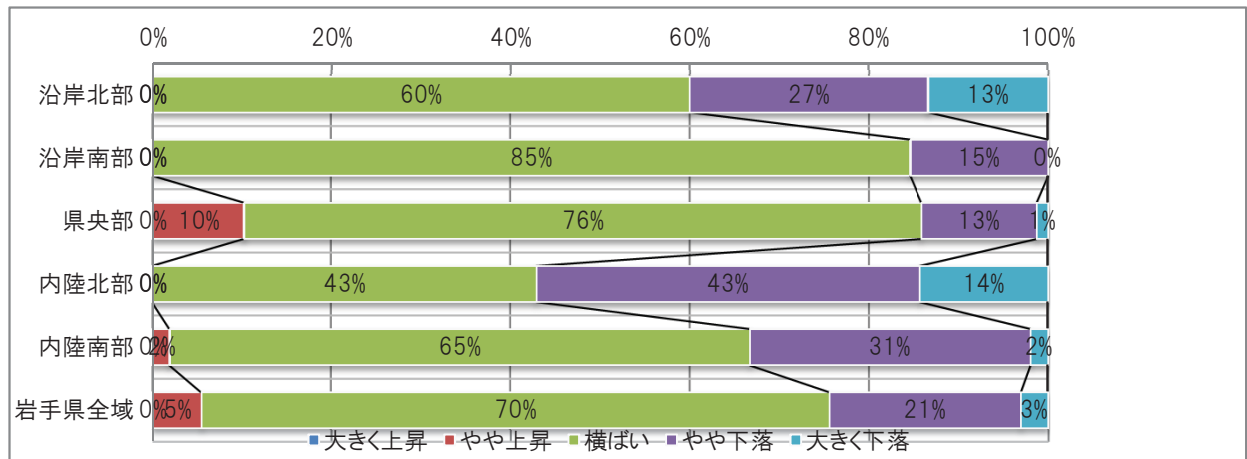
【住宅地】

| エリア | 動向指数 | 大きく上昇 | やや上昇 | 横ばい | やや下落 | 大きく下落 | 小計 | 不明 無回答 | 合計 |
|-------|-------|-------|------|-----|------|-------|------|-----------|-----|
| | | | | | | | | | |
| 沿岸北部 | -30.0 | 0 | 0 | 7 | 7 | 1 | 15 | 2 | 17 |
| | | 0% | 0% | 47% | 47% | 7% | 100% | | |
| 沿岸南部 | -23.3 | 0 | 0 | 8 | 7 | 0 | 15 | 0 | 15 |
| | | 0% | 0% | 53% | 47% | 0% | 100% | | |
| 県央部 | 4.8 | 0 | 18 | 57 | 8 | 1 | 84 | 4 | 88 |
| | | 0% | 21% | 68% | 10% | 1% | 100% | | |
| 内陸北部 | -25.0 | 0 | 0 | 5 | 2 | 1 | 8 | 0 | 8 |
| | | 0% | 0% | 63% | 25% | 13% | 100% | | |
| 内陸南部 | -10.5 | 0 | 1 | 43 | 13 | 0 | 57 | 5 | 62 |
| | | 0% | 2% | 75% | 23% | 0% | 100% | | |
| 岩手県全域 | -6.7 | 0 | 19 | 120 | 37 | 3 | 179 | 11 | 190 |
| | | 0% | 11% | 67% | 21% | 2% | 100% | | |



【商業地】

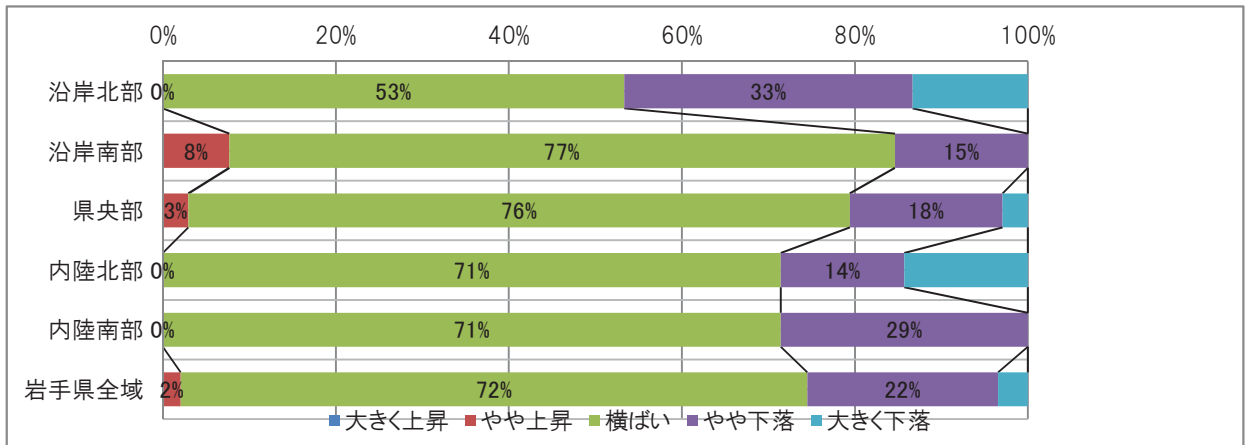
| エリア | 動向指数 | 大きく上昇 | やや上昇 | 横ばい | やや下落 | 大きく下落 | 小計 | 不明 無回答 | 合計 |
|-------|-------|-------|------|-----|------|-------|------|-----------|-----|
| | | | | | | | | | |
| 沿岸北部 | -26.7 | 0 | 0 | 9 | 4 | 2 | 15 | 2 | 17 |
| | | 0% | 0% | 60% | 27% | 13% | 100% | | |
| 沿岸南部 | -7.7 | 0 | 0 | 11 | 2 | 0 | 13 | 2 | 15 |
| | | 0% | 0% | 85% | 15% | 0% | 100% | | |
| 県央部 | -2.6 | 0 | 8 | 59 | 10 | 1 | 78 | 10 | 88 |
| | | 0% | 10% | 76% | 13% | 1% | 100% | | |
| 内陸北部 | -35.7 | 0 | 0 | 3 | 3 | 1 | 7 | 1 | 8 |
| | | 0% | 0% | 43% | 43% | 14% | 100% | | |
| 内陸南部 | -16.7 | 0 | 1 | 33 | 16 | 1 | 51.0 | 11 | 62 |
| | | 0% | 2% | 65% | 31% | 2% | 100% | | |
| 岩手県全域 | -11.0 | 0 | 9 | 115 | 35 | 5 | 164 | 26 | 190 |
| | | 0% | 5% | 70% | 21% | 3% | 100% | | |



問4:6ヶ月後の取引価格の予測②

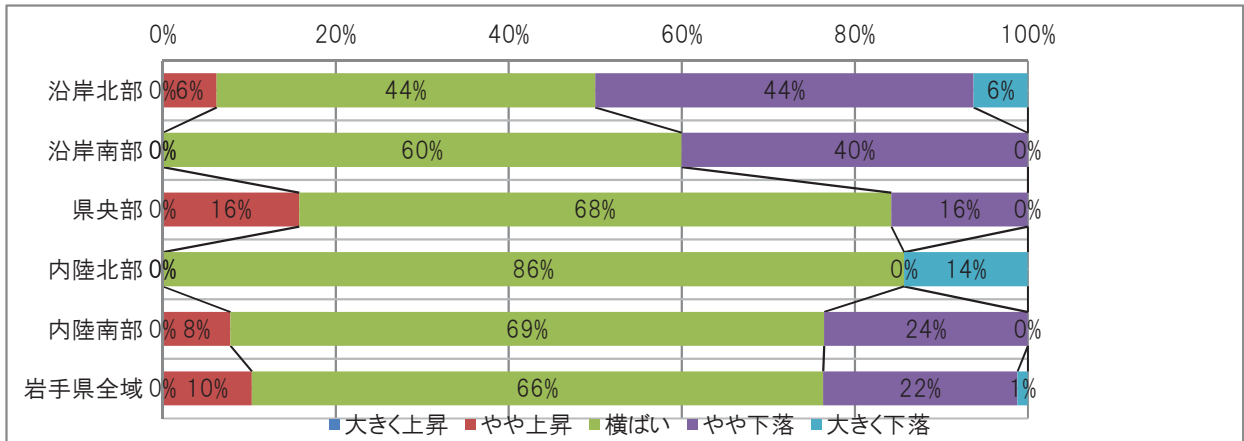
【産業用地】

| エリア | 動向指数 | 大きく上昇 | やや上昇 | 横ばい | やや下落 | 大きく下落 | 小計 | 不明 無回答 | 合計 |
|-------|-------|-------|------|-----|------|-------|------|-----------|-----|
| 沿岸北部 | -30.0 | 0 | 0 | 8 | 5 | 2 | 15 | 2 | 17 |
| | | 0% | 0% | 53% | 33% | 13% | 100% | | |
| 沿岸南部 | -3.8 | 0 | 1 | 10 | 2 | 0 | 13 | 2 | 15 |
| | | 0% | 8% | 77% | 15% | 0% | 100% | | |
| 県央部 | -10.3 | 0 | 2 | 52 | 12 | 2 | 68 | 20 | 88 |
| | | 0% | 3% | 76% | 18% | 3% | 100% | | |
| 内陸北部 | -21.4 | 0 | 0 | 5 | 1 | 1 | 7 | 1 | 8 |
| | | 0% | 0% | 71% | 14% | 14% | 100% | | |
| 内陸南部 | -14.3 | 0 | 0 | 30 | 12 | 0 | 42 | 20 | 62 |
| | | 0% | 0% | 71% | 29% | 0% | 100% | | |
| 岩手県全域 | -13.4 | 0 | 3 | 105 | 32 | 5 | 145 | 45 | 190 |
| | | 0% | 2% | 72% | 22% | 3% | 100% | | |



【中古住宅】

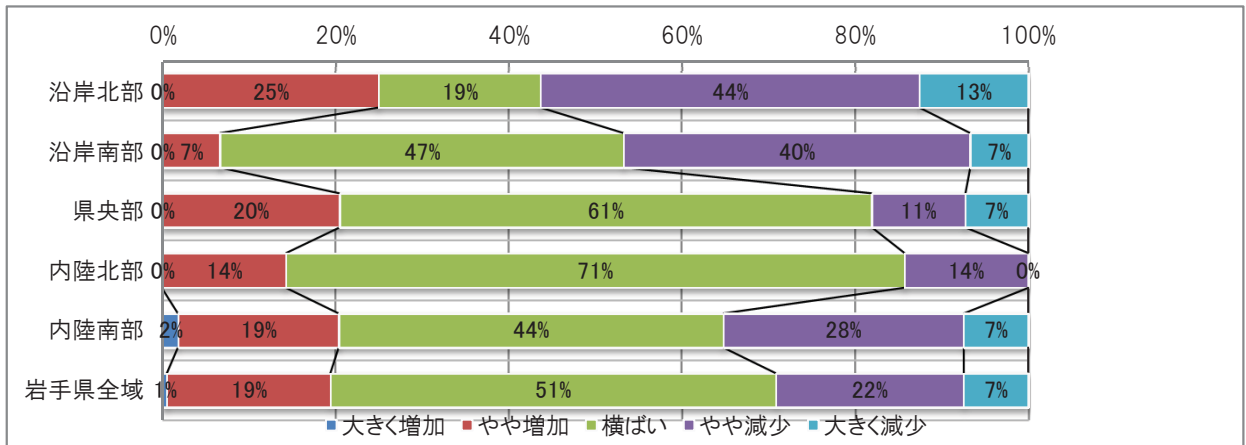
| エリア | 動向指数 | 大きく上昇 | やや上昇 | 横ばい | やや下落 | 大きく下落 | 小計 | 不明 無回答 | 合計 |
|-------|-------|-------|------|-----|------|-------|------|-----------|-----|
| 沿岸北部 | -25.0 | 0 | 1 | 7 | 7 | 1 | 16 | 1 | 17 |
| | | 0% | 6% | 44% | 44% | 6% | 100% | | |
| 沿岸南部 | -20.0 | 0 | 0 | 9 | 6 | 0 | 15 | 0 | 15 |
| | | 0% | 0% | 60% | 40% | 0% | 100% | | |
| 県央部 | 0 | 0 | 12 | 52 | 12 | 0 | 76 | 12 | 88 |
| | | 0% | 16% | 68% | 16% | 0% | 100% | | |
| 内陸北部 | -14.3 | 0 | 0 | 6 | 0 | 1 | 7 | 1 | 8 |
| | | 0% | 0% | 86% | 0% | 14% | 100% | | |
| 内陸南部 | -7.8 | 0 | 4 | 35 | 12 | 0 | 51 | 11 | 62 |
| | | 0% | 8% | 69% | 24% | 0% | 100% | | |
| 岩手県全域 | -7.3 | 0 | 17 | 109 | 37 | 2 | 165 | 25 | 190 |
| | | 0% | 10% | 66% | 22% | 1% | 100% | | |



問5: 取引件数の6ヶ月前(H27.4.1時点)との比較 ①

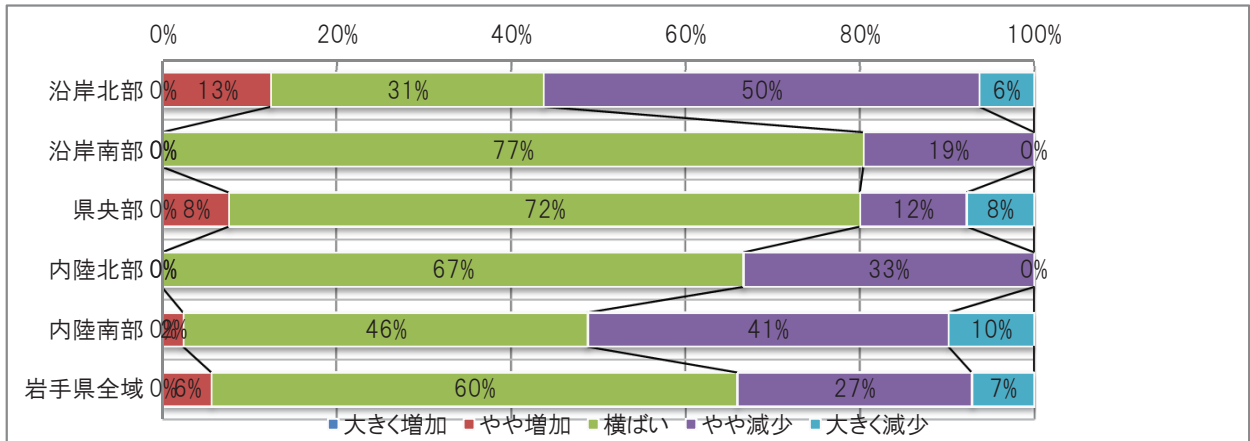
【住宅地】

| エリア | 動向指数 | 大きく増加 | やや増加 | 横ばい | やや減少 | 大きく減少 | 小計 | 不明 無回答 | 合計 |
|-------|-------|-------|------|-----|------|-------|------|-----------|-----|
| 沿岸北部 | -21.9 | 0 | 4 | 3 | 7 | 2 | 16 | 1 | 17 |
| | | 0% | 25% | 19% | 44% | 13% | 100% | | |
| 沿岸南部 | -23.3 | 0 | 1 | 7 | 6 | 1 | 15 | 0 | 15 |
| | | 0% | 7% | 47% | 40% | 7% | 100% | | |
| 県央部 | -2.4 | 0 | 17 | 51 | 9 | 6 | 83 | 5 | 88 |
| | | 0% | 20% | 61% | 11% | 7% | 100% | | |
| 内陸北部 | 0 | 0 | 1 | 5 | 1 | 0 | 7 | 1 | 8 |
| | | 0% | 14% | 71% | 14% | 0% | 100% | | |
| 内陸南部 | -10.2 | 1 | 10 | 24 | 15 | 4 | 54 | 8 | 62 |
| | | 2% | 19% | 44% | 28% | 7% | 100% | | |
| 岩手県全域 | -8.3 | 1 | 33 | 90 | 38 | 13 | 175 | 15 | 190 |
| | | 1% | 19% | 51% | 22% | 7% | 100% | | |



【商業地】

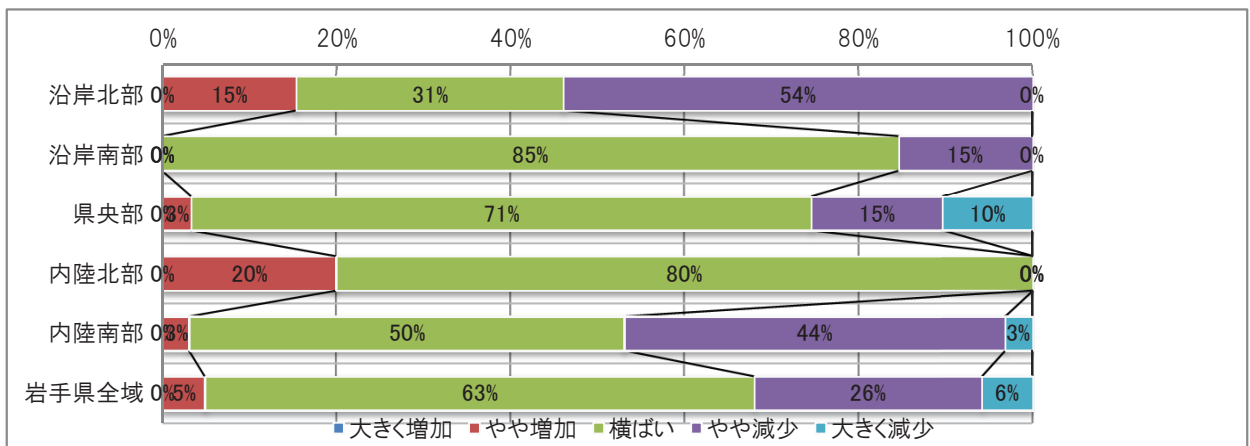
| エリア | 動向指数 | 大きく増加 | やや増加 | 横ばい | やや減少 | 大きく減少 | 小計 | 不明 無回答 | 合計 |
|-------|-------|-------|------|-----|------|-------|------|-----------|-----|
| 沿岸北部 | -25.0 | 0 | 2 | 5 | 8 | 1 | 16 | 1 | 17 |
| | | 0% | 13% | 31% | 50% | 6% | 100% | | |
| 沿岸南部 | -11.5 | 0 | 0 | 10 | 3 | 0 | 13 | 2 | 15 |
| | | 0% | 0% | 77% | 19% | 0% | 100% | | |
| 県央部 | -10.0 | 0 | 5 | 47 | 8 | 5 | 65 | 23 | 88 |
| | | 0% | 8% | 72% | 12% | 8% | 100% | | |
| 内陸北部 | -16.7 | 0 | 0 | 4 | 2 | 0 | 6 | 2 | 8 |
| | | 0% | 0% | 67% | 33% | 0% | 100% | | |
| 内陸南部 | -29.3 | 0 | 1 | 19 | 17 | 4 | 41 | 21 | 62 |
| | | 0% | 2% | 46% | 41% | 10% | 100% | | |
| 岩手県全域 | -17.7 | 0 | 8 | 85 | 38 | 10 | 141 | 49 | 190 |
| | | 0% | 6% | 60% | 27% | 7% | 100% | | |



問5: 取引件数の6ヶ月前(H27.4.1時点)との比較 ②

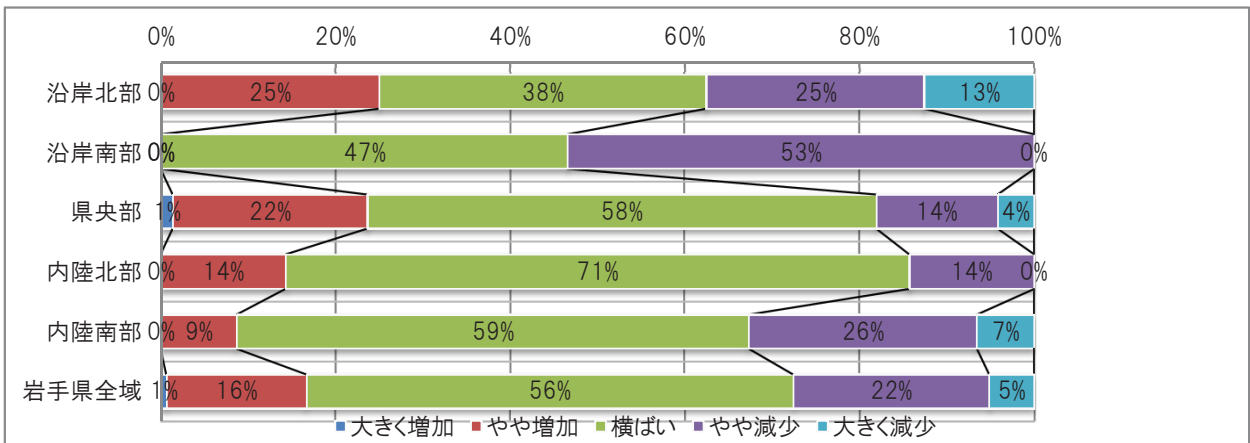
【産業用地】

| エリア | 動向指数 | 大きく増加 | やや増加 | 横ばい | やや減少 | 大きく減少 | 小計 | 不明 無回答 | 合計 |
|-------|-------|-------|------|-----|------|-------|------|-----------|-----|
| | | | | | | | | | |
| 沿岸北部 | -19.2 | 0 | 2 | 4 | 7 | 0 | 13 | 4 | 17 |
| | | 0% | 15% | 31% | 54% | 0% | 100% | | |
| 沿岸南部 | -7.7 | 0 | 0 | 11 | 2 | 0 | 13 | 2 | 15 |
| | | 0% | 0% | 85% | 15% | 0% | 100% | | |
| 県央部 | -16.1 | 0 | 2 | 42 | 9 | 6 | 59 | 29 | 88 |
| | | 0% | 3% | 71% | 15% | 10% | 100% | | |
| 内陸北部 | 10.0 | 0 | 1 | 4 | 0 | 0 | 5 | 3 | 8 |
| | | 0% | 20% | 80% | 0% | 0% | 100% | | |
| 内陸南部 | -23.4 | 0 | 1 | 16 | 14 | 1 | 32 | 30 | 62 |
| | | 0% | 3% | 50% | 44% | 3% | 100% | | |
| 岩手県全域 | -16.4 | 0 | 6 | 77 | 32 | 7 | 122 | 68 | 190 |
| | | 0% | 5% | 63% | 26% | 6% | 100% | | |



【中古住宅】

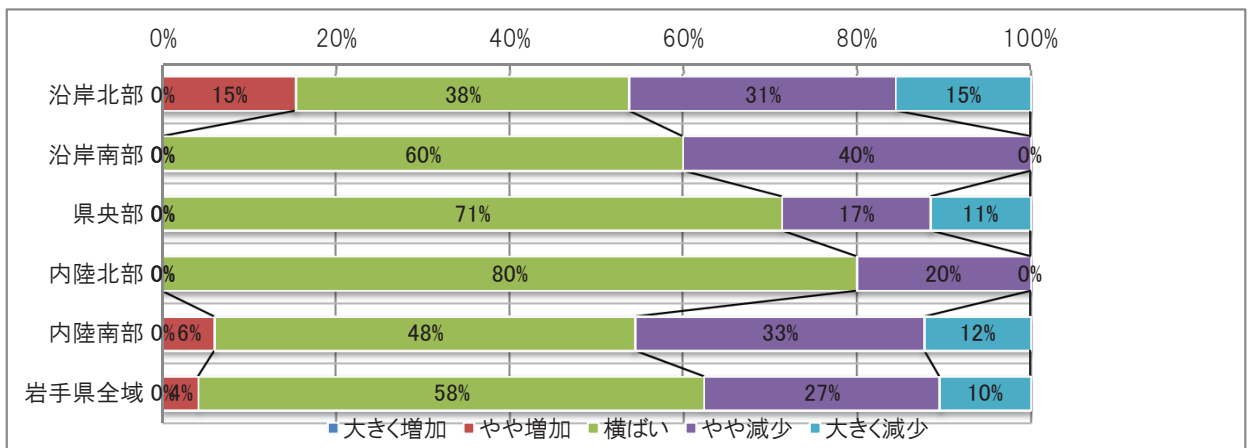
| エリア | 動向指数 | 大きく増加 | やや増加 | 横ばい | やや減少 | 大きく減少 | 小計 | 不明 無回答 | 合計 |
|-------|-------|-------|------|-----|------|-------|------|-----------|-----|
| | | | | | | | | | |
| 沿岸北部 | -13 | 0 | 4 | 6 | 4 | 2 | 16 | 1 | 17 |
| | | 0% | 25% | 38% | 25% | 13% | 100% | | |
| 沿岸南部 | 0 | 0 | 0 | 7 | 8 | 0 | 15 | 0 | 15 |
| | | 0% | 0% | 47% | 53% | 0% | 100% | | |
| 県央部 | 1.4 | 1 | 16 | 42 | 10 | 3 | 72 | 16 | 88 |
| | | 1% | 22% | 58% | 14% | 4% | 100% | | |
| 内陸北部 | 0 | 0 | 1 | 5 | 1 | 0 | 7 | 1 | 8 |
| | | 0% | 14% | 71% | 14% | 0% | 100% | | |
| 内陸南部 | -15.2 | 0 | 4 | 27 | 12 | 3 | 46 | 16 | 62 |
| | | 0% | 9% | 59% | 26% | 7% | 100% | | |
| 岩手県全域 | -7.7 | 1 | 25 | 87 | 35 | 8 | 156 | 34 | 190 |
| | | 1% | 16% | 56% | 22% | 5% | 100% | | |



問5: 取引件数の6ヶ月前(H27.4.1時点)との比較 ③

【農地・山林】

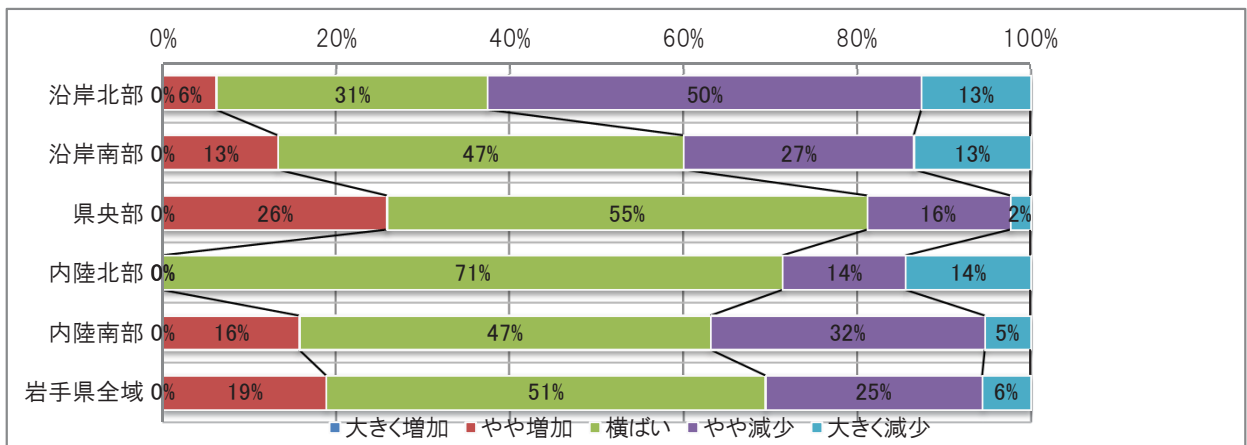
| エリア | 動向指数 | 大きく増加 | やや増加 | 横ばい | やや減少 | 大きく減少 | 小計 | 不明 無回答 | 合計 |
|-------|-------|-------|------|-----|------|-------|------|-----------|-----|
| | | | | | | | | | |
| 沿岸北部 | -23.1 | 0 | 2 | 5 | 4 | 2 | 13 | 4 | 17 |
| | | 0% | 15% | 38% | 31% | 15% | 100% | | |
| 沿岸南部 | -20.0 | 0 | 0 | 6 | 4 | 0 | 10 | 5 | 15 |
| | | 0% | 0% | 60% | 40% | 0% | 100% | | |
| 県央部 | -20.0 | 0 | 0 | 25 | 6 | 4 | 35 | 53 | 88 |
| | | 0% | 0% | 71% | 17% | 11% | 100% | | |
| 内陸北部 | -10.0 | 0 | 0 | 4 | 1 | 0 | 5 | 3 | 8 |
| | | 0% | 0% | 80% | 20% | 0% | 100% | | |
| 内陸南部 | -25.8 | 0 | 2 | 16 | 11 | 4 | 33 | 29 | 62 |
| | | 0% | 6% | 48% | 33% | 12% | 100% | | |
| 岩手県全域 | -21.9 | 0 | 4 | 56 | 26 | 10 | 96 | 94 | 190 |
| | | 0% | 4% | 58% | 27% | 10% | 100% | | |



問6:6ヶ月後の取引件数の予測 ①

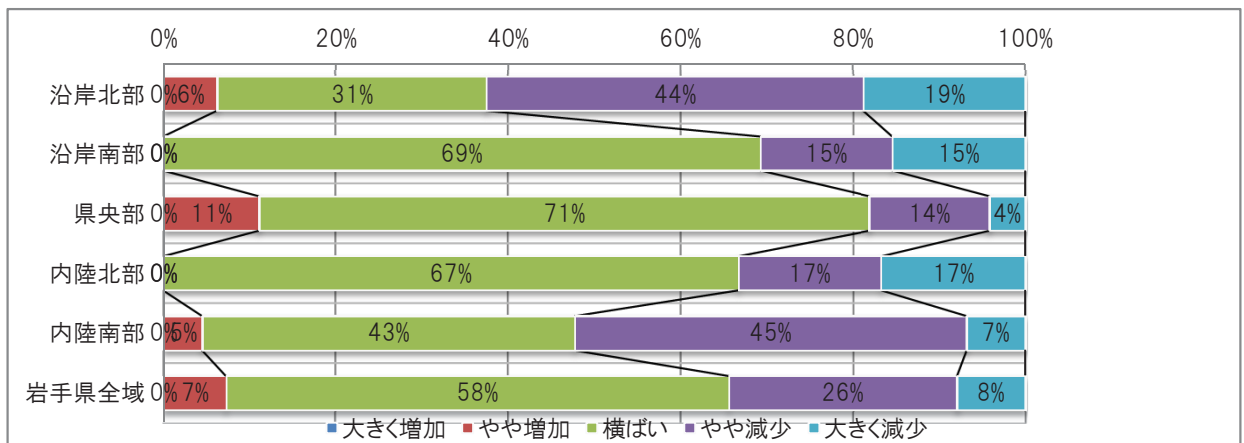
【住宅地】

| エリア | 動向指数 | 大きく増加 | やや増加 | 横ばい | やや減少 | 大きく減少 | 小計 | 不明 無回答 | 合計 |
|-------|-------|-------|------|-----|------|-------|------|-----------|-----|
| 沿岸北部 | -34.4 | 0 | 1 | 5 | 8 | 2 | 16 | 1 | 17 |
| | | 0% | 6% | 31% | 50% | 13% | 100% | | |
| 沿岸南部 | -20.0 | 0 | 2 | 7 | 4 | 2 | 15 | 0 | 15 |
| | | 0% | 13% | 47% | 27% | 13% | 100% | | |
| 県央部 | 2.4 | 0 | 22 | 47 | 14 | 2 | 85 | 3 | 88 |
| | | 0% | 26% | 55% | 16% | 2% | 100% | | |
| 内陸北部 | -21.4 | 0 | 0 | 5 | 1 | 1 | 7 | 1 | 8 |
| | | 0% | 0% | 71% | 14% | 14% | 100% | | |
| 内陸南部 | -13.2 | 0 | 9 | 27 | 18 | 3 | 57 | 5 | 62 |
| | | 0% | 16% | 47% | 32% | 5% | 100% | | |
| 岩手県全域 | -8.6 | 0 | 34 | 91 | 45 | 10 | 180 | 10 | 190 |
| | | 0% | 19% | 51% | 25% | 6% | 100% | | |



【商業地】

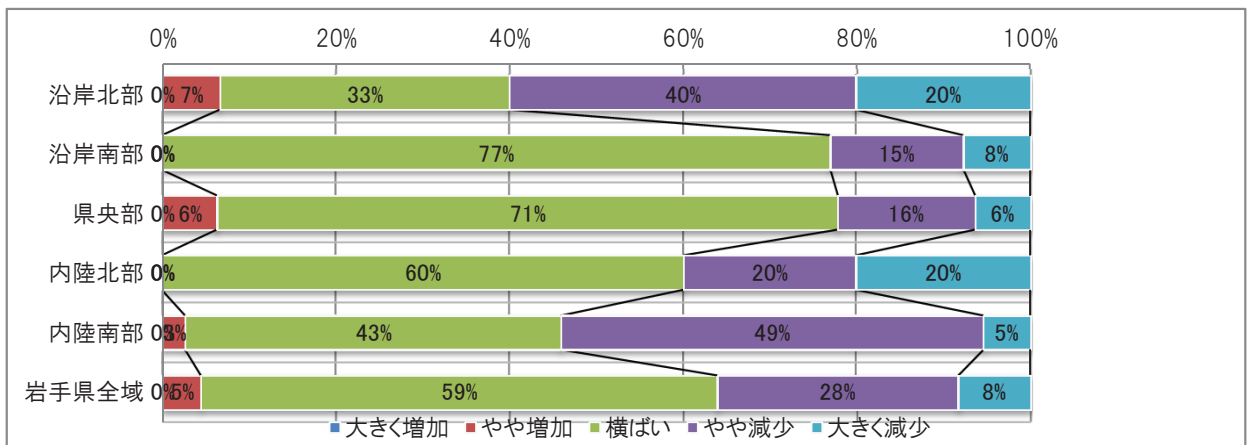
| エリア | 動向指数 | 大きく増加 | やや増加 | 横ばい | やや減少 | 大きく減少 | 小計 | 不明 無回答 | 合計 |
|-------|-------|-------|------|-----|------|-------|------|-----------|-----|
| 沿岸北部 | -37.5 | 0 | 1 | 5 | 7 | 3 | 16 | 1 | 17 |
| | | 0% | 6% | 31% | 44% | 19% | 100% | | |
| 沿岸南部 | -23.1 | 0 | 0 | 9 | 2 | 2 | 13 | 2 | 15 |
| | | 0% | 0% | 69% | 15% | 15% | 100% | | |
| 県央部 | -5.6 | 0 | 8 | 51 | 10 | 3 | 72 | 16 | 88 |
| | | 0% | 11% | 71% | 14% | 4% | 100% | | |
| 内陸北部 | -25.0 | 0 | 0 | 4 | 1 | 1 | 6 | 2 | 8 |
| | | 0% | 0% | 67% | 17% | 17% | 100% | | |
| 内陸南部 | -27.3 | 0 | 2 | 19 | 20 | 3 | 44 | 18 | 62 |
| | | 0% | 5% | 43% | 45% | 7% | 100% | | |
| 岩手県全域 | -17.5 | 0 | 11 | 88 | 40 | 12 | 151 | 39 | 190 |
| | | 0% | 7% | 58% | 26% | 8% | 100% | | |



問6:6ヶ月後の取引件数の予測 ②

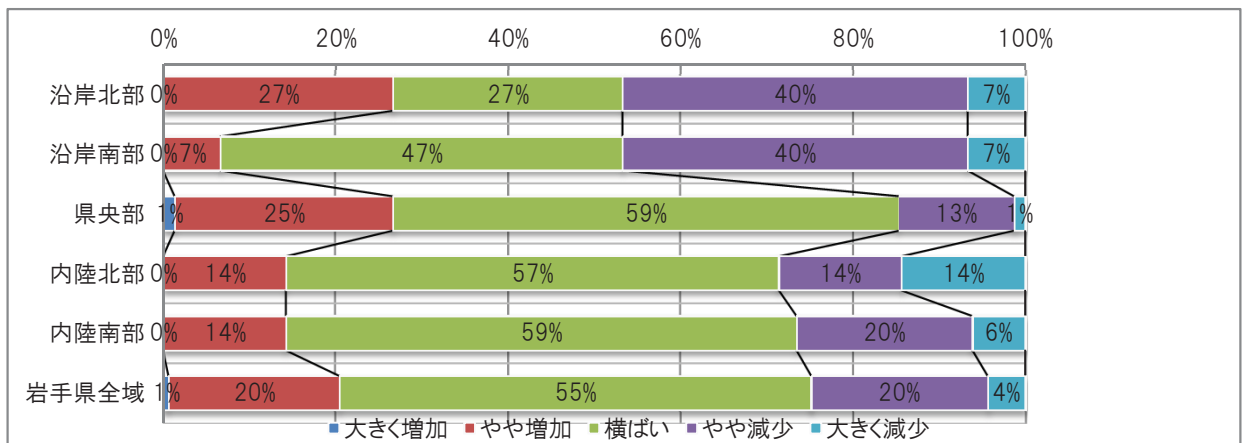
【産業用地】

| エリア | 動向指数 | 大きく増加 | やや増加 | 横ばい | やや減少 | 大きく減少 | 小計 | 不明 無回答 | 合計 |
|-------|-------|-------|------|-----|------|-------|------|-----------|-----|
| | | | | | | | | | |
| 沿岸北部 | -36.7 | 0 | 1 | 5 | 6 | 3 | 15 | 2 | 17 |
| | | 0% | 7% | 33% | 40% | 20% | 100% | | |
| 沿岸南部 | -15.4 | 0 | 0 | 10 | 2 | 1 | 13 | 2 | 15 |
| | | 0% | 0% | 77% | 15% | 8% | 100% | | |
| 県央部 | -11.1 | 0 | 4 | 45 | 10 | 4 | 63 | 25 | 88 |
| | | 0% | 6% | 71% | 16% | 6% | 100% | | |
| 内陸北部 | -30.0 | 0 | 0 | 3 | 1 | 1 | 5 | 3 | 8 |
| | | 0% | 0% | 60% | 20% | 20% | 100% | | |
| 内陸南部 | -28.4 | 0 | 1 | 16 | 18 | 2 | 37 | 25 | 62 |
| | | 0% | 3% | 43% | 49% | 5% | 100% | | |
| 岩手県全域 | -19.9 | 0 | 6 | 79 | 37 | 11 | 133 | 57 | 190 |
| | | 0% | 5% | 59% | 28% | 8% | 100% | | |



【中古住宅の取引】

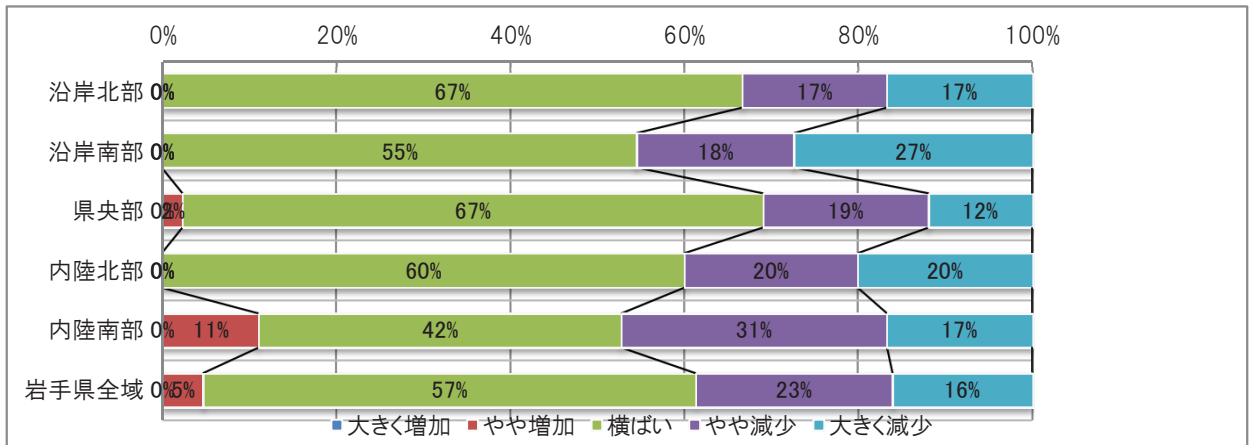
| エリア | 動向指数 | 大きく増加 | やや増加 | 横ばい | やや減少 | 大きく減少 | 小計 | 不明 無回答 | 合計 |
|-------|-------|-------|------|-----|------|-------|------|-----------|-----|
| | | | | | | | | | |
| 沿岸北部 | -13.3 | 0 | 4 | 4 | 6 | 1 | 15 | 2 | 17 |
| | | 0% | 27% | 27% | 40% | 7% | 100% | | |
| 沿岸南部 | -23.3 | 0 | 1 | 7 | 6 | 1 | 15 | 0 | 15 |
| | | 0% | 7% | 47% | 40% | 7% | 100% | | |
| 県央部 | 6.0 | 1 | 19 | 44 | 10 | 1 | 75 | 13 | 88 |
| | | 1% | 25% | 59% | 13% | 1% | 100% | | |
| 内陸北部 | -14.3 | 0 | 1 | 4 | 1 | 1 | 7 | 1 | 8 |
| | | 0% | 14% | 57% | 14% | 14% | 100% | | |
| 内陸南部 | -9.2 | 0 | 7 | 29 | 10 | 3 | 49 | 13 | 62 |
| | | 0% | 14% | 59% | 20% | 6% | 100% | | |
| 岩手県全域 | -4.0 | 1 | 32 | 88 | 33 | 7 | 161 | 29 | 190 |
| | | 1% | 20% | 55% | 20% | 4% | 100% | | |



問6:6ヶ月後の取引件数の予測 ③

【農地・山林の取引】

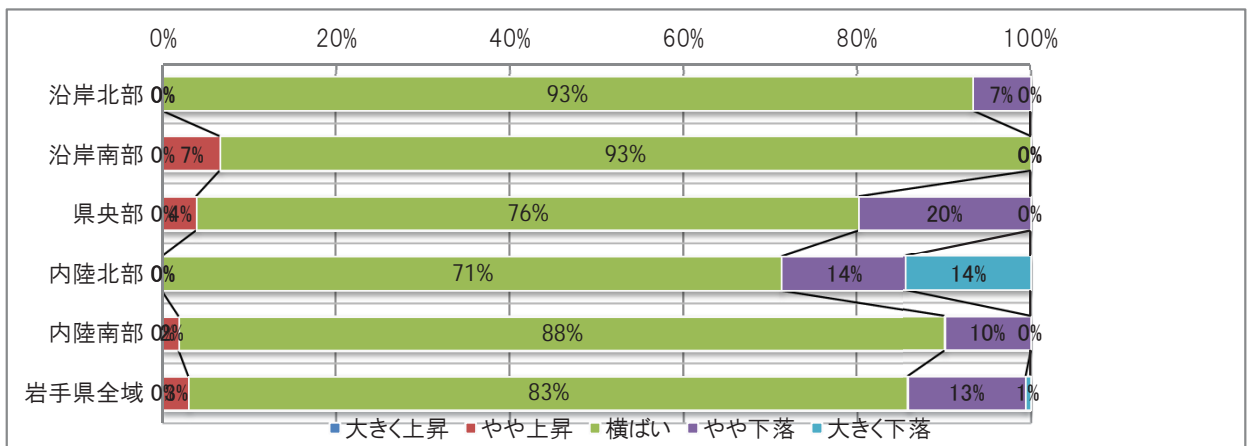
| エリア | 動向指数 | 大きく増加 | やや増加 | 横ばい | やや減少 | 大きく減少 | 小計 | 不明 無回答 | 合計 |
|-------|-------|-------|------|-----|------|-------|------|-----------|-----|
| 沿岸北部 | -25.0 | 0 | 0 | 8 | 2 | 2 | 12 | 5 | 17 |
| | | 0% | 0% | 67% | 17% | 17% | 100% | | |
| 沿岸南部 | -36.4 | 0 | 0 | 6 | 2 | 3 | 11 | 4 | 15 |
| | | 0% | 0% | 55% | 18% | 27% | 100% | | |
| 県央部 | -20.2 | 0 | 1 | 28 | 8 | 5 | 42 | 46 | 88 |
| | | 0% | 2% | 67% | 19% | 12% | 100% | | |
| 内陸北部 | -30.0 | 0 | 0 | 3 | 1 | 1 | 5 | 3 | 8 |
| | | 0% | 0% | 60% | 20% | 20% | 100% | | |
| 内陸南部 | -26.4 | 0 | 4 | 15 | 11 | 6 | 36 | 26 | 62 |
| | | 0% | 11% | 42% | 31% | 17% | 100% | | |
| 岩手県全域 | -25.0 | 0 | 5 | 60 | 24 | 17 | 106 | 84 | 190 |
| | | 0% | 5% | 57% | 23% | 16% | 100% | | |



問7: 賃料の6ヶ月前(H27.4.1時点)との比較

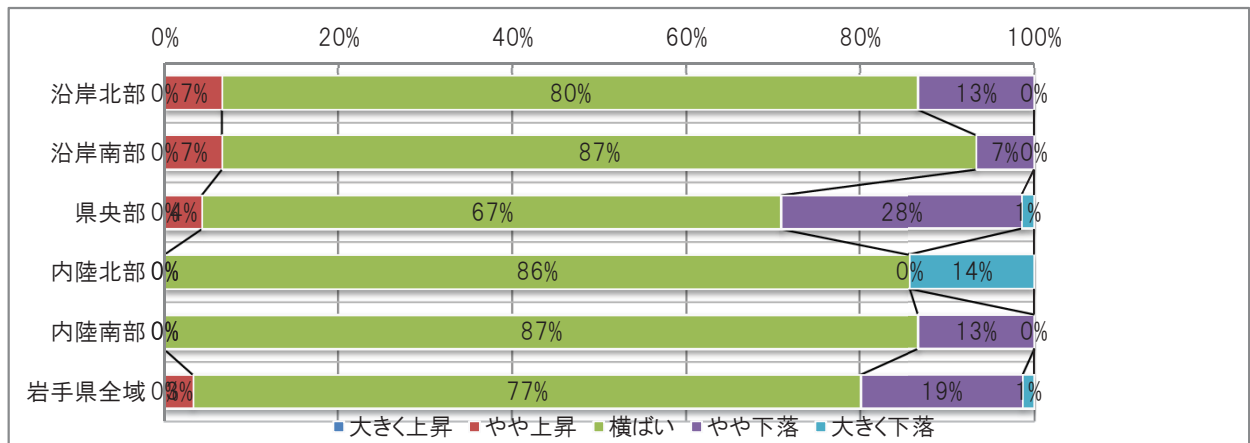
【住居系不動産】

| エリア | 動向指数 | 大きく上昇 | やや上昇 | 横ばい | やや下落 | 大きく下落 | 小計 | 不明 無回答 | 合計 |
|-------|-------|-------|------|-----|------|-------|------|-----------|-----|
| | | | | | | | | | |
| 沿岸北部 | -3.3 | 0 | 0 | 14 | 1 | 0 | 15 | 2 | 17 |
| | | 0% | 0% | 93% | 7% | 0% | 100% | | |
| 沿岸南部 | 3.3 | 0 | 1 | 14 | 0 | 0 | 15 | 0 | 15 |
| | | 0% | 7% | 93% | 0% | 0% | 100% | | |
| 県央部 | -7.9 | 0 | 3 | 58 | 15 | 0 | 76 | 12 | 88 |
| | | 0% | 4% | 76% | 20% | 0% | 100% | | |
| 内陸北部 | -21.4 | 0 | 0 | 5 | 1 | 1 | 7 | 1 | 8 |
| | | 0% | 0% | 71% | 14% | 14% | 100% | | |
| 内陸南部 | -3.9 | 0 | 1 | 45 | 5 | 0 | 51 | 11 | 62 |
| | | 0% | 2% | 88% | 10% | 0% | 100% | | |
| 岩手県全域 | -5.8 | 0 | 5 | 136 | 22 | 1 | 164 | 26 | 190 |
| | | 0% | 3% | 83% | 13% | 1% | 100% | | |



【その他不動産】

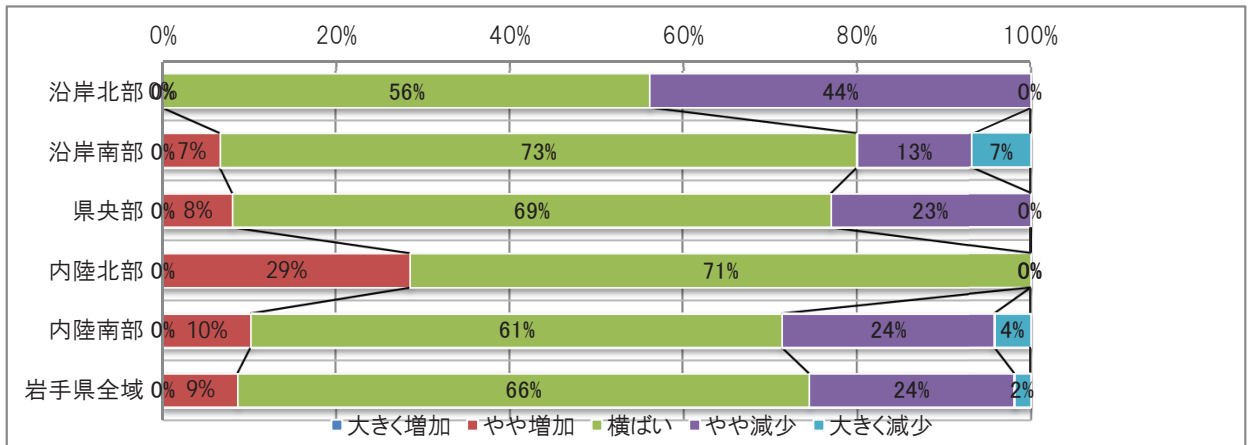
| エリア | 動向指数 | 大きく上昇 | やや上昇 | 横ばい | やや下落 | 大きく下落 | 小計 | 不明 無回答 | 合計 |
|-------|-------|-------|------|-----|------|-------|------|-----------|-----|
| | | | | | | | | | |
| 沿岸北部 | -3.3 | 0 | 1 | 12 | 2 | 0 | 15 | 2 | 17 |
| | | 0% | 7% | 80% | 13% | 0% | 100% | | |
| 沿岸南部 | 0 | 0 | 1 | 13 | 1 | 0 | 15 | 0 | 15 |
| | | 0% | 7% | 87% | 7% | 0% | 100% | | |
| 県央部 | -13.0 | 0 | 3 | 46 | 19 | 1 | 69 | 19 | 88 |
| | | 0% | 4% | 67% | 28% | 1% | 100% | | |
| 内陸北部 | -14.3 | 0 | 0 | 6 | 0 | 1 | 7 | 1 | 8 |
| | | 0% | 0% | 86% | 0% | 14% | 100% | | |
| 内陸南部 | -6.7 | 0 | 0 | 39 | 6 | 0 | 45 | 17 | 62 |
| | | 0% | 0% | 87% | 13% | 0% | 100% | | |
| 岩手県全域 | -8.9 | 0 | 5 | 116 | 28 | 2 | 151 | 39 | 190 |
| | | 0% | 3% | 77% | 19% | 1% | 100% | | |



問8: 入居率の6ヶ月前(H27.4.1時点)との比較

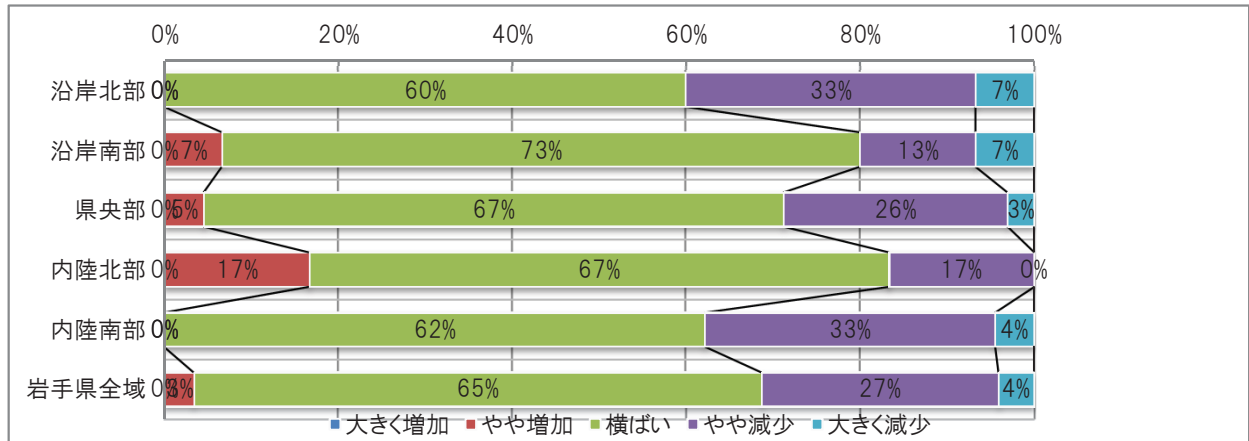
【住居系不動産】

| エリア | 動向指数 | 大きく増加 | やや増加 | 横ばい | やや減少 | 大きく減少 | 小計 | 不明 無回答 | 合計 |
|-------|-------|-------|------|-----|------|-------|------|-----------|-----|
| | | | | | | | | | |
| 沿岸北部 | -21.9 | 0 | 0 | 9 | 7 | 0 | 16 | 1 | 17 |
| | | 0% | 0% | 56% | 44% | 0% | 100% | | |
| 沿岸南部 | -10.0 | 0 | 1 | 11 | 2 | 1 | 15 | 0 | 15 |
| | | 0% | 7% | 73% | 13% | 7% | 100% | | |
| 県央部 | -7.4 | 0 | 6 | 51 | 17 | 0 | 74 | 14 | 88 |
| | | 0% | 8% | 69% | 23% | 0% | 100% | | |
| 内陸北部 | 14.3 | 0 | 2 | 5 | 0 | 0 | 7 | 1 | 8 |
| | | 0% | 29% | 71% | 0% | 0% | 100% | | |
| 内陸南部 | -11.2 | 0 | 5 | 30 | 12 | 2 | 49 | 13 | 62 |
| | | 0% | 10% | 61% | 24% | 4% | 100% | | |
| 岩手県全域 | -9.3 | 0 | 14 | 106 | 38 | 3 | 161 | 29 | 190 |
| | | 0% | 9% | 66% | 24% | 2% | 100% | | |



【その他不動産】

| エリア | 動向指数 | 大きく増加 | やや増加 | 横ばい | やや減少 | 大きく減少 | 小計 | 不明 無回答 | 合計 |
|-------|-------|-------|------|-----|------|-------|------|-----------|-----|
| | | | | | | | | | |
| 沿岸北部 | -23.3 | 0 | 0 | 9 | 5 | 1 | 15 | 2 | 17 |
| | | 0% | 0% | 60% | 33% | 7% | 100% | | |
| 沿岸南部 | -10.0 | 0 | 1 | 11 | 2 | 1 | 15 | 0 | 15 |
| | | 0% | 7% | 73% | 13% | 7% | 100% | | |
| 県央部 | -13.6 | 0 | 3 | 44 | 17 | 2 | 66 | 22 | 88 |
| | | 0% | 5% | 67% | 26% | 3% | 100% | | |
| 内陸北部 | 0 | 0 | 1 | 4 | 1 | 0 | 6 | 2 | 8 |
| | | 0% | 17% | 67% | 17% | 0% | 100% | | |
| 内陸南部 | -21.1 | 0 | 0 | 28 | 15 | 2 | 45 | 17 | 62 |
| | | 0% | 0% | 62% | 33% | 4% | 100% | | |
| 岩手県全域 | -16.0 | 0 | 5 | 96 | 40 | 6 | 147 | 43 | 190 |
| | | 0% | 3% | 65% | 27% | 4% | 100% | | |



お問い合わせ窓口

一般社団法人 岩手県不動産鑑定士協会

調査研究委員長 佐藤 真（不動産鑑定士）

（所属） 合同会社昭典不動産鑑定事務所

〒025-0036 花巻市中根子字古館10番地

TEL：0198-29-4777 FAX：0198-29-4778

調査研究委員 新沼 輝雄（不動産鑑定士）

（所属） 新沼不動産鑑定事務所

〒020-0883 盛岡市志家町2-14-702

TEL：019-613-9292 FAX：019-613-9293

一般社団法人 岩手県宅地建物取引業協会の概要

団体名：一般社団法人 岩手県宅地建物取引業協会

代表者名：会長 多田 幸司

発足：昭和42年7月

会員数：603会員（準会員を含む）

所在地：盛岡市前九年1-9-30

電話番号：019-646-1111

公益社団法人 全日本不動産協会岩手県本部の概要

団体名：公益社団法人 全日本不動産協会岩手県本部

代表者名：本部長 田屋 慶一

発足：昭和36年11月

会員数：104会員

所在地：盛岡市八幡町1番9-101

電話番号：019-625-5900

一般社団法人 岩手県不動産鑑定士協会の概要

団体名：一般社団法人 岩手県不動産鑑定士協会

代表者名：会長 細川 卓

発足：平成21年4月

会員数：不動産鑑定士26名、不動産鑑定業者22社

所在地：盛岡市大通1-3-4 宝来ビル6階

電話番号：019-604-3070

※ 無断複製転載を禁じます。